

令和2年度 NPO 強化による復興創生事業
「NPO、企業、学生等との連携・協力事業」業務及び
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

NPOと企業等のマッチング事業 報告書



福島県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

目 次

1. 事業の目的	2
2. 事業スケジュール	3
3. 事業の内容	5
(1) 事前アンケート調査とヒアリング活動	5
(2) NPO 事前講座	14
(3) 企業との情報交換会	20
(4) NPO と企業とのマッチング会	23
(5) マッチング会後のアフターフォロー	55
4. マッチング事業の成果	57

1. 事業の目的

近年ますます多様化・複雑化する社会で、福島県においても多くの NPO が様々な地域課題を解決すべく日々活動している。しかし、NPO が単独で対応するには資金や人材といったリソースが不足しているのが現状である。一方、企業については、近年叫ばれている「ESG 経営」のように短期的利益の創出ばかりではなく、持続可能な社会づくりの一員としての事業活動を志向することが求められている。

そこで期待されているのが産学官民の連携、とりわけ NPO と企業の協働である。NPO・企業それぞれの長所を活かした連携・協働により様々な地域課題の解決を目指す取組の創出を通じ、NPO の運営強化を図ることが当事業の目的である。

<NPO と企業とのマッチング事業の令和 2 年度の基本的な考え方>

NPO と企業との協働マッチングについては、今年度実施した事前アンケート調査及び訪問によるヒアリング等から、企業の中には上記のような問題に対応するために、NPO をはじめとした地域活動団体との連携に関心が高いところが多いことがわかった。しかし企業側には NPO についての知識や情報が少なく、更に NPO との連携によるメリットがイメージできないとの意見が多く聞かれた。

一方 NPO は日々の活動において資金不足や人材不足等の問題を抱え、自団体単独ではなかなかその活動を充実・発展させられないことから、こちらも企業等との連携への関心が高いことがわかった。しかし多くの NPO は発信力が弱かったり、連携を進めるためのノウハウに乏しいなどの理由で、協働の意思はあるものの積極的に企業等へアプローチできない場合が多い。

以上のような状況で NPO と企業との協働マッチングを進めるには、NPO に対し企業へのアプローチ力を補いつつ、企業にも既存の連携事例や事業に参加する NPO を紹介するなどの準備をしてお互いが対話をする機会を創ることが重要である。更に今年度の事業では、地域課題への取り組み事例や団体の PR 方法を学ぶ「アプローチ講座」、模擬プレゼンを行い改善点を確認する「プレゼン講座」、企業へのプレゼンテーションと対話を行う「マッチング会」に加え、NPO には「アプローチ基本講座」により「協働」に対する基本的な考え方のレクチャーを、また企業には「情報交換会」による NPO の事前情報提供を実施した。そして、マッチング会後には、連携・協働の創出が促進されるようにサポートセンターが両者を仲介するアフターフォローを行った。

2. 事業スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- [1]事前アンケート調査とヒアリング活動
- [2]NPO 事前講座(アプローチ基本講座、アプローチ講座、プレゼン講座)
- [3]企業の情報交換会
- [4]NPO と企業とのマッチング会
- [5]マッチング会後のアフターフォロー

の6つあり、その実施スケジュールは以下の通りである。

[1]事前アンケート調査とヒアリング活動

7月23日(金)～9月30日(火)

福島県内のNPO(929団体)へのアンケート調査

7月23日(金)～9月18日(金)

福島県内企業(7,535社)へのアンケート調査

6月17日(水)～10月12日(月)

福島県内企業(延べ52社)への訪問によるヒアリング(学校等も含む)

[2]NPO 事前講座(アプローチ基本講座、アプローチ講座、プレゼン講座)

アプローチ基本講座

9月24日(木) Zoomにて実施

アプローチ講座

10月7日(水) Zoomにて実施

プレゼン講座

11月5日(木) 福島市市民活動サポートセンター B会議室

11月10日(火) 会津アピオスペース 大会議室

11月11日(水) いわき産業創造館 セミナー室

11月12日(木) 郡山市ミュージカルがくと館 大ホール

[3]企業の情報交換会

11月19日(木) Zoomにて実施

[4]NPO と企業とのマッチング会

12月1日(火) 郡山市ミュージカルがくと館 大ホール

12月2日(水) 会津アピオスペース 大会議室

12月10日(木) 福島市市民活動サポートセンター 会議室

12月11日(金) いわき産業創造館 セミナー室

[5] マッチング会後のアフターフォロー

12月25日(金)～

事後のアンケート調査を含めたアフターフォローを、ふくしま地域活動団体サポートセンタースタッフにより実施。

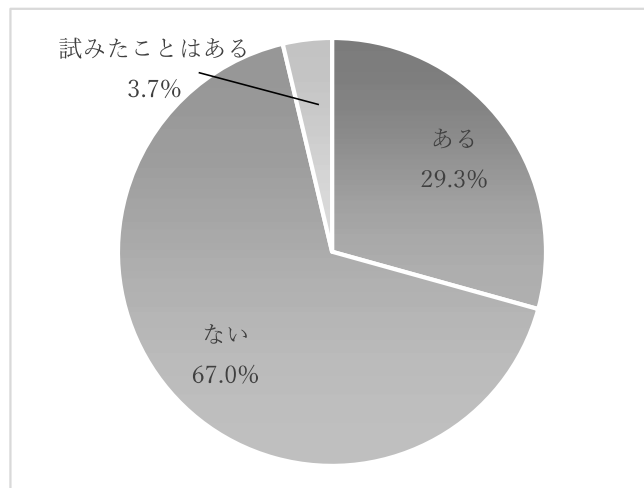
3. 事業の内容

(1) 事前アンケート調査とヒアリング活動

マッチング事業を開始するにあたり、県内のNPOと企業へアンケート調査を行った。なお、企業のアンケート回収率が伸びなかったため、経済団体の紹介等による個別ヒアリングにも注力した。

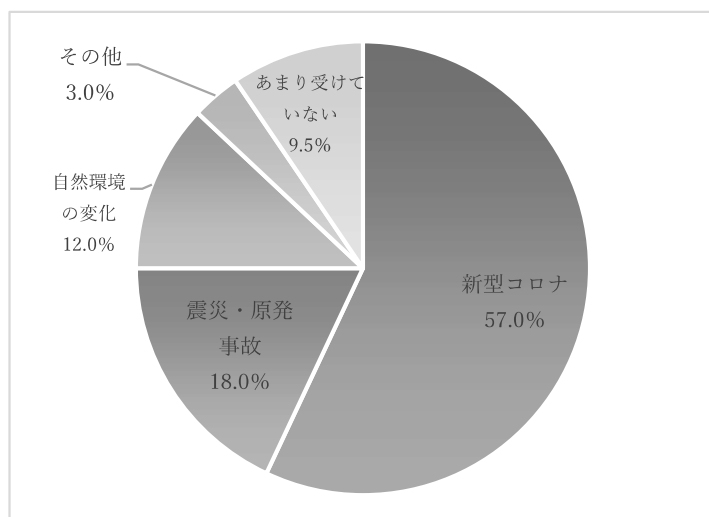
令和2年度 NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート集計(NPO)

- 配布 929箇所
- アンケート回答数 164団体 (回収率 17.7%)
- 質問事項と集計
 1. 貴団体は、これまでセクターを超えた協働(企業等との協働)を行ったことはありますか?
 - ① ある 48件 (29.3%)
 - ② ない 110件 (67.0%)
 - ③ 行ったことは無いが、試みたことはある 6件 (3.7%)



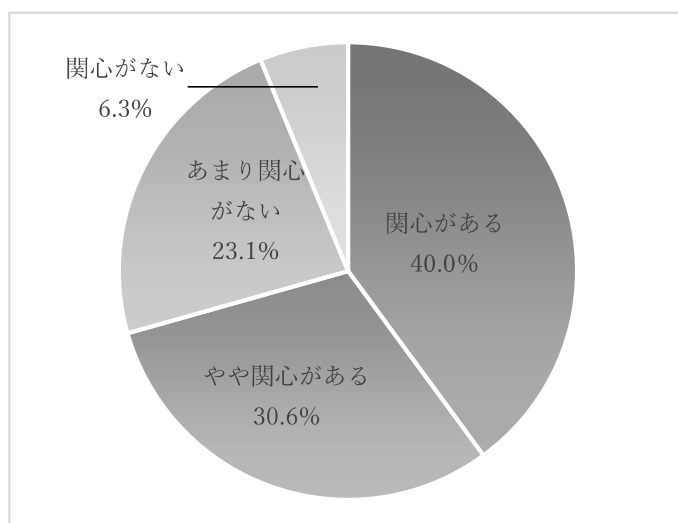
2. 近年の社会の変化によって、貴団体は影響を受けていますか？ (複数回答可)
 - ① 新型コロナウイルスによる影響を受けている 114件 (57.0%)

- ② 東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所の事故による影響を受けている 36件 (18.0%)
- ③ 自然環境の変化(温暖化や豪雨災害の多発など)による影響を受けている 24件 (12.0%)
- ④ その他 7件 (3.5%)
- ⑤ あまり影響を受けていない 19件 (9.5%)



3. 社会の変化への対応において、セクターを超えた協働(企業等との協働)に関心がありますか？(無回答4件)

- ① 関心がある 64件 (40.0%)
- ② やや関心がある 49件 (30.6%)
- ③ あまり関心がない 37件 (23.1%)
- ④ 関心がない 10件 (6.3%)



記述欄：自団体に不足していることや協働相手に求めること

〈関心がある、やや関心がある〉

- NPOのノウハウを活用できるプログラムやサービスの開発。
- アクションを起こす人手がない。
- 企業の専門的な技術を生かしたプロボノ(広報、IT)支援や寄付。
- お互いがWin-Winになるような事業企画。
- 文化、環境保全に対し、支援できる団体。
- 移住関係のノウハウを支援できる団体。
- 関心はありますが、会としてのコミュニケーションの限界を感じています。
- 製造が追いつかず又メールのやり取りが難しい。
- 企業と連携して製品を作りたい
- 資金面でのサポート。
- 社員教育の一環にぜひNPO活動に関わってほしい。
- 自主製品の、お菓子のご利用。お土産やノベルティとしていただければと思います。
- 自分のところに不足しているから他の力を借りるということではなく、もう少し大きな視点でゆるやかに連携できるところを探したい。その事で新たな事業展開ができるかもしれないし、出来なくても視野が広がると思う。
- 情報不足、ネットワーク構築できない。
- 営業のノウハウ、資金繰りの助言など。
- 避難所の設置・運営。
- 活動資金の不足。
- 学習会などの開催をする場所や対象者へのアプローチ。
- 営業力が弱く、販路拡大が進まない。
- 当法人が何について協働できるのか分からない。
- 施設管理のノウハウについて教えていただき協働できるといいのですが。
- 災害時の避難誘導や食材確保など。

〈関心がない、やや関心がない〉

- 正直、何をどうすべきか考えがまとまっていない。
- 職員が少ない。
- 企業に提案できる事業が今のところ無い。

- セクターを超えた協働に対応できる人材が少ない。
- 当クラブは規模が小さく専属の事務局員もおりません。まだまだ企業等との協働というところまで成長できないと思います。

令和2年度 NPO と企業等のマッチング事業 事前アンケート集計(企業等)

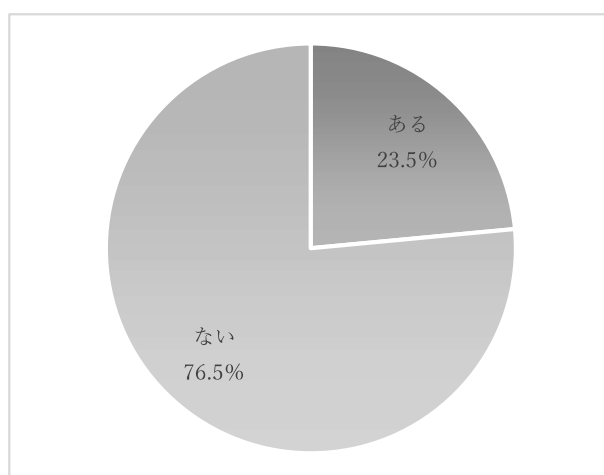
- 配布 7, 535箇所
- アンケート回答数 34社 (回収率 0.5%)

※訪問によるヒアリング社数 延べ60社

○ 質問事項と集計

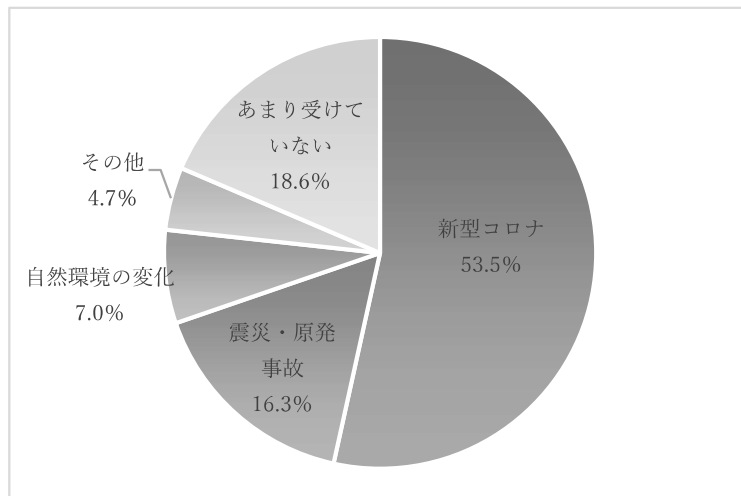
1. 貴団体は、これまでセクターを超えた協働(企業等との協働)を行ったことはありますか？

- ① ある 8件 (23.5%)
- ② ない 26件 (76.5%)



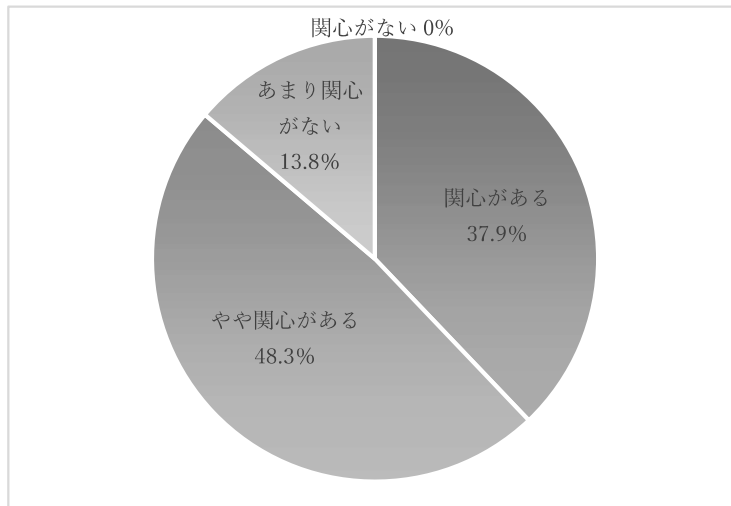
2. 近年の社会の変化によって、貴団体は影響を受けていますか？(複数回答可)

- ① 新型コロナウイルスによる影響を受けている 23件 (53.5%)
- ② 東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所の事故による影響を受けている 7件 (16.3%)
- ③ 自然環境の変化(温暖化や豪雨災害の多発など)による影響を受けている 3件 (7.0%)
- ④ その他 2件 (4.7%)
- ⑤ あまり影響を受けていない 8件 (18.6%)



3. 社会の変化への対応において、セクターを超えた協働(企業等との協働)に関心がありますか？（無回答5件）

- ① 関心がある 11件（37.9%）
- ② やや関心がある 14件（48.3%）
- ③ あまり関心がない 4件（13.8%）
- ④ 関心がない 0件（0%）



記述欄：自団体に不足していることや協働相手に求めること

※アンケート調査に加え、訪問によるヒアリング内容も記載

〈アンケートより〉

- NPO との協働といっても正直イメージがわからないが、お互いにメリットがあるならば垣根を超えた協働も良いと思う。
- 自社は、集客の為宣伝告知が不十分である。
- 震災復興事業など、民間企業だけでは取り組むことが難しい事業を協働していきたい。
- 出来れば弊社所在地の周辺でのマッチングを希望する。
- どのように協働できるかイメージできない。
- あまりよく知らないだけでチャンスはあるものと思います。
- PR 力が不足している。新製品開発力不足。
- 事業承継、人材教育等、中小企業のおかれている共通の悩みと将来展望を明確化するうえで協力することは必須。この場合、協働相手はNPO ではないのかもしれない。ただし、ビジネスマッチングできればそのメリットを考えたい。
- 弊社の取り扱っている商品の新たな可能性を見つける視点が不足している。

〈ヒアリングより〉

- 以前、NPO との協働を行ったことがあったが、従業員の教育という効果もあり、貴重な場になった。
- 地域密着型の企業として、NPO との協働は今後も進めたい。良い企画や連携先があれば紹介して欲しい。
- 経営理念において、地域貢献を重視しているが、NPO と連携するアイデアがなく実績が上がっていない。
- これまで、NPO との接点がなかった。新しい視点で事業を考えることに役立つのだが、もし連携事業に着手するとなるとお互いの信頼関係構築など課題が多い。
- 以前、NPO との協働を進めたことがあるが、コミュニケーションがうまくとれておらず止まってしまった。
- 具体的な協働については、アイデア不足なので提案をしていただけるとありがたい。

- 事業には一昨年度参加したが、自分たちにできるものが何があるか浮かばなかった。事前の情報提供などを頂けるとありがたい。
- 見返りは求めているので、社員が参加(手伝いなど)ができるイベント等の情報を頂けるとありがたい。
- 会社として、社会貢献には積極的に参加したい。それぞれの立場で対応できることがあるので、私たちを是非利用してほしい。
- コロナ禍で業績は悪化。しかし、社会の変化に対応していかなければならない。
- イメージが湧かないが関心はある。
- 地域の企業や福祉作業所などとの連携を実施している。地域資源である地元の人材や製品を使うことで地域の底上げをしていきたい。
- NPO との連携としては、高齢者に優しいユニバーサルデザインを取り入れた製品の開発などをしていきたいと考えており、その製品企画に高齢者福祉を行っている NPO などとのコラボが考えられる。
- チラシをメールでお送りいただければ社長に伝える。
(ロータリークラブの会合でマッチング事業をご案内)
- 福島会場に参加する。何か協力できることがあればいいが。
- 企業はコロナ禍等で厳しい状況なので、このような取り組みは貴重だと思う。
- 学校を経営しているが、今年はコロナ禍で学生のスケジュールがひっ迫しているので、本格的な参加は難しい。しかし、長い目で見れば地域に根差した活動は学生にとっても有意義なので、かかわりを続けたい。
- どんな NPO があるのか、ビジネスのヒントになればと思い以前事業に参加した。マッチング会に参加してみて、NPO はいろいろ勉強されていて熱量を感じた。マッチングには引き続き参加したい。
- 元々、CSR への取り組みに注力しており、NPO との連携はすでに実績がある。地元に関連した商品開発や地域とのつながりを大切にしたい。
- NPO の活動やニーズが詳しく分かる Web サイトがなお参加しやすいとのこと。
- 新しい事業展開のヒントになればという思いで以前事業に参加した。興味を引いた NPO 法人があったが、自社のマンパワー不足で実現できず。
- NPO 法人が集まったマッチングサイトがあれば良いのではないかな？

事業の周知のための「マッチング事例集」の作成

アンケート調査や訪問によるヒアリングで得た個別情報の中で、セクター間の連携に関心が高いのではないかとと思われる NPO や企業を中心に、参加促進のための事業の周知を目的に、「マッチング事例集」を作成して配布した。

なお、マッチング事例集については、公表の許可を得たものに限って掲載している。

【マッチング事例集】（ページ抜粋）



1

事業概要	NPOの介護保険外サービスのノウハウを利用して、企業の空きスペースで無料の介護相談を実施。介護サービスについて、将来への不安、障がいがあっても働きたいなどの相談を、ケアマネジャーや社会福祉士、看護士などの専門スタッフが対応。	
連携主体	一般社団法人fukuelcer (非営利団体)	株式会社いもち (無利の)
それぞれの役割	団体の活動(介護保険外サービス)を家業に要介護者があるお客様が、お広く市県に告知。2020年2月11日から18時(10時～18時)、いもち福島本店で相談できるスペースを確保。今週で、お買い物を対象に無料の介護相談会を開催。	家業に要介護者があるお客様が、お買い物のついでに気軽に介護について相談できるスペースを確保。今週で、お買い物を対象に無料の介護相談会を開催。
成果	NPO法人としては、2月11日に無料の「介護お悩み相談会」を開催し、自社が持つ専門的な介護のノウハウを多くの人に提供できた。残り2回はコロナウイルス感染拡大防止のため延期(開催未定)。企業としてはお客様へのサービスとして介護の悩み相談を開催することができ、地元で密着した売り場いもちにも繋がった。	

2

事業概要	企業が実施している公的職業訓練(ハローレARNING)のDTP-WEBデザインコースの新規生の教材として、NPO法人が制作するイベントの広報物(ポスター・チラシ)を企画制作。	
連携主体	特定非営利活動法人 高層林エコリズム協会 (非営利)	エヌケー・テック株式会社 (無利の)
それぞれの役割	DTP-WEBデザインコースを受講している学生に、イベント「親子の夏休み自由研究プログラム」のチラシ制作を依頼。	DTP-WEBデザインコースを受講している学生が、職業訓練の教材としてNPO法人が制作するイベントのポスター・チラシの制作を依頼。
成果	学生から23作品が寄せられた。オーディションの結果、今までと違った表書きのデザイン、表書きでかわいらしいチラシが出来上がり、イベント会場やその周辺地域に各駅チラシとして配布された。企業としても学生の学びの場となるとともに、社会貢献活動の一環としてPRできた。	

3

事業概要	NPOが運営する子ども食堂への企業の参画。地域の子どもの居場所づくりを目的にNPO法人ビーンズふくしまが運営する子ども食堂「よしいだキッチン」に企業が運営に全面協力をし、子どもの体験の場を提供することで十分なマンパワーが確保され、スムーズな運営が可能になった。	
連携主体	特定非営利活動法人ビーンズふくしま(無利の)	有限会社藤山島田海苔店(無利の)
それぞれの役割	福島市の首井田児童センターで、2018年7月より定期的に子ども食堂「よしいだキッチン」を運営。ビーンズふくしまは長年に渡り地域の子ども達の居場所づくり、フリースタイルの運営、震災支援などを行っており、その経験と知識を基にこの事業の企画運営全般を担っている。	地域貢献や地域とのつながりを重視するつながり屋を運営する企業を行う(南相馬市)藤山島田海苔店が、全国的に「よしいだキッチン」の運営をサポート。また自社食材である海苔を提供し、料理づくりや海苔のワークショップの開催に協力した。
成果	それぞれの強みを生かすことで子ども食堂のスムーズな運営が為されていることに加え、ビーンズふくしまが目指す、様々な団体との連携による子ども食堂の地域展開や、藤山島田海苔店が重んじる地域貢献として、子ども達が海苔という文化に触れる機会を増やすことなど、主催者・参加者それぞれにメリットのある事業になっている。	

4

(2) NPO 事前講座

NPO 事前講座は、これまでの講座を踏襲し「NPO が企業等の協力・賛同を得るために、自分たちの活動を相手に分かりやすく伝える」ための力を培うことを目的に「アプローチ講座」「プレゼン講座」を実施した。

アプローチ講座では自分たちの活動を企業等に伝えるための資料づくりにおける基本的な考え方や重視すべきポイントについて講義とディスカッションを行った。またプレゼン講座は、マッチング会でのプレゼンテーションを想定し、予めパワーポイントで作成した資料を用いた自団体の活動紹介やPRを、マッチング会と同じ会場で行った。

また、今年度は主に当事業に初めて参加する NPO 向けに、上記の講座に先立って、この事業の目的や、前述の事例集などを用いながら理解を促す「アプローチ基本講座」を行った。この講座においては、特に「NPO が企業等との連携を模索するにあたっては、NPO が一方的に企業等から支援を受けるという姿勢ではなく、平等な立場で『win-win』の関係を目指しつつ、『公益』を意識した取り組みを行うように心がける」ことを強調した。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「アプローチ基本講座」と「アプローチ講座」は Zoom を活用したオンライン講座として行い、「プレゼン講座」とマッチング会は透明の亚克力板やアルコール除菌、検温、室内の換気や湿度調整などによる対策を取って行った。

【NPO 向け募集チラシ】

NPOと企業等のマッチング事業

NPO参加大募集!

NPOに企業等との協力を求めるNPOと企業等のマッチング事業, 参加費は下記のとおり実施します。お申し込みの際は必ずアプローチ講座やプレゼンテーションに参加する必要があります。またNPO活動のネットウツしをお願いします!

STEP1 アプローチ基本講座(参加費)

※24(水) 13時30分～15時30分

内容: オンライン講座。企業の概要が知識に必要。参加費は、この日の講座費用にとりまわります。企業・団体の紹介や質疑応答の時間を設けています。

STEP2 アプローチ講座(参加費)

※27(土) 15時30分～16時30分

内容: オンライン講座。参加費は、この日の講座費用にとりまわります。企業・団体の紹介や質疑応答の時間を設けています。

STEP3 プレゼン講座(参加費)

※28(日) 13時30分～16時30分です。

11/5(水) 企業説明
11/10(水) 企業説明
11/16(水) 企業説明
11/22(水) 企業説明

内容: マッチング会に付随して、各自の持ち場を準備し、質疑応答の時間を設けています。

STEP4 マッチング会

※29(月) 13時30分～16時30分です。

12/1(水) 企業説明
12/2(木) 企業説明
12/8(水) 企業説明
12/15(水) 企業説明

内容: マッチング会に付随して、各自の持ち場を準備し、質疑応答の時間を設けています。

※参加費は上記のとおりです。お申し込みの際は必ずアプローチ講座やプレゼンテーションに参加する必要があります。またNPO活動のネットウツしをお願いします。

申込: 令和2年11月14日(月)

「送付先」メール: fmatching@saiposen.jp FAX: 024-523-2741

令和2年度「NPOと企業等のマッチング事業」

参加申込書

※参加費別

団体名	
参加者氏名	
電話番号	
メールアドレス	
参加会場	<input type="checkbox"/> プレゼン講座(参加費) <input type="checkbox"/> Zoom 無料(オンライン講座) <input type="checkbox"/> アプローチ講座(参加費) <input type="checkbox"/> Zoom 無料(オンライン講座)
※お申し込みの際は、必ずこの欄に必ずお申し込みください。	
マッチング会	<input type="checkbox"/> 11/5(水) 企業説明(参加費) <input type="checkbox"/> 11/10(水) 企業説明(参加費) <input type="checkbox"/> 11/16(水) 企業説明(参加費) <input type="checkbox"/> 11/22(水) 企業説明(参加費)
※お申し込みの際は、必ずこの欄に必ずお申し込みください。	
申込締切	9月14日(月)

この申込書はマッチングWEB <https://fmp-match.np-f-saiposen.jp> からダウンロードできます。お問合せ先: ふくしま地域経済支援サポートセンター TEL:024-521-8206 送付: 無料

【アプローチ基本講座】

日時：令和2年9月24日(木) 13:30～15:30

実施手段：Zoomを活用したオンラインにより実施

講座の内容

- 参加者自己紹介
- 事業の目的やマッチングを住めるにあたって意識すべきポイント等についてのレクチャー
- 協働事例の紹介

を、ふくしま地域活動団体サポートセンターのスタッフにより実施

参加団体

NPO 法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ

NPO 法人 子ども緊急サポート郡山

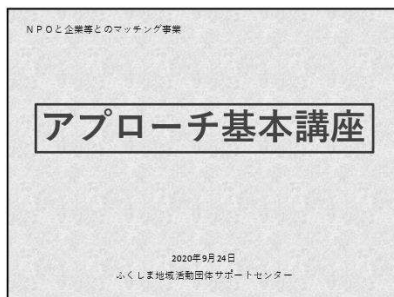
NPO 法人 いわき緊急サポートセンター

NPO 法人 ダンス博

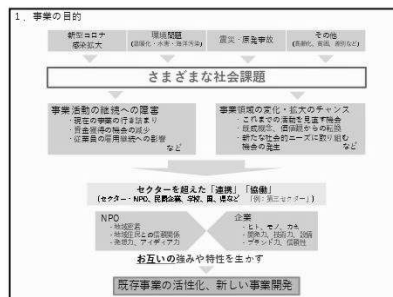
NPO 法人 ままはーと

NPO 法人 いわき FP・e-らいふ

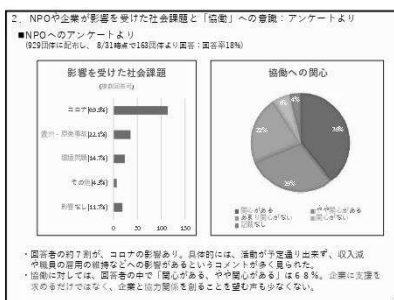
使用した資料



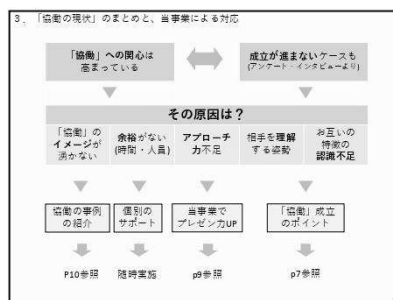
1



2



3



4

【アプローチ講座】

日時：令和2年10月7日(水) 13:30～16:30

実施手段：Zoomを活用したオンラインにより実施

講座の内容

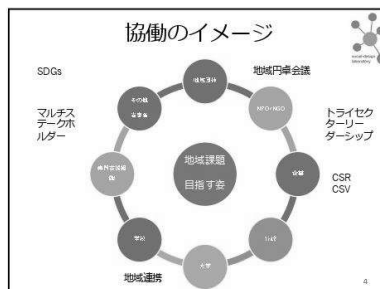
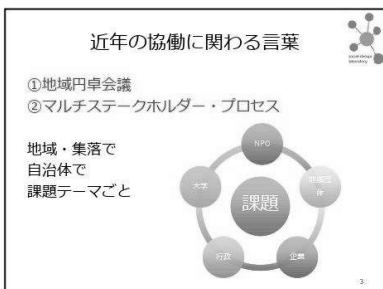
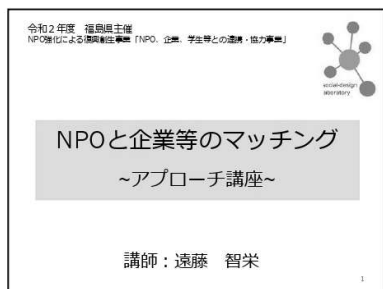
- 参加者自己紹介
- 講師による講義
- ワークシート「団体の活動紹介の視点」の作成
- 各参加団体からの、ワークシートに基づく活動紹介と質疑

講師：NPO アドバイザー 遠藤智栄氏

参加団体

- NPO 法人 あいメッセージ
- NPO 法人 子ども緊急サポート郡山
- NPO 法人 いわき緊急サポートセンター
- NPO 法人 ダンス博
- NPO 法人 ままはーと
- 喜多方音楽協議会

使用した資料① 講義資料(ページ抜粋)



使用した資料② ワークシート「団体の活動紹介の視点」

団体の活動紹介の視点 ・箇条書きで書き込みましょう！	
2 ● 目指す姿・理想像	3 ■ 活動項目 ・実施していること
1 ▲ 地域社会での問題、困っていること	・未着手なこと

【プレゼン講座】

1. 福島開催

日時：令和2年11月5日(木)

会場：福島市市民活動サポートセンター B会議室

参加団体

NPO 法人 ビーンズふくしま

NPO 法人 青空保育たけの子

NPO 法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ

NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会

NPO 法人 チームふくしま

2. 会津開催

日時：令和2年11月10日(火)

会場：会津アピオスペース 大会議室

参加団体

colorful (運営団体：NPO 法人 CHANT)

喜多方音楽協議会

一般社団法人 fukucier(ふくしえる)

3. いわき開催

日時：令和2年11月11日(水)

会場：いわき産業創造館 セミナー室

参加団体

NPO 法人 ダンス博

NPO 法人 いわき緊急サポートセンター

4. 郡山開催

日時：令和2年11月12日(木)

会場：郡山市ミューカルがくと館 大ホール

参加団体

NPO 法人 あいメッセージ

NPO 法人 子ども緊急サポート郡山

講座の内容

- 参加者自己紹介
- 講師による講義
- 個人ワーク：予め作成した自団体プレゼン資料の黙読による、所要時間計測
- 団体ごとのプレゼンテーションリハーサル①
- 各参加者による感想、相互アドバイスとフィードバックシート①への記載
- 団体ごとのプレゼンテーションリハーサル②
- 各参加者による感想、相互アドバイスとフィードバックシート②への記載

講師：NPO アドバイザー 遠藤智栄氏

講座の様子



[11月5日 福島会場]



[11月10日 会津会場]

(3) 企業との情報交換会

企業との情報交換会は、企業等がNPOと連携、協働する意義や当事業の位置付けや内容についての理解を深めるために、マッチング会参加企業に対し実施した。具体的には連携、協働の意義に関するレクチャー、これまでの協働事例や今年度のマッチング事業参加予定NPOの紹介を行い、レクチャー等を受けての感想や質疑、マッチング会参加への期待等について話し合った。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため企業との情報交換会はZoomを活用したオンラインで行った。

日時：令和2年11月19日(木) 13:30～16:30

実施手段：Zoomを活用したオンラインにより実施

情報交換会の内容

- 参加者自己紹介
- 講師による講義
- マッチング事例集の紹介
- 質疑、意見交換①
- 今年度の参加予定NPOの紹介
- 質疑、意見交換②

講師：NPOアドバイザー 遠藤智栄氏

参加企業

株式会社いちい

鈴木実行政書士事務所

株式会社郡山コミュニティ放送

株式会社ヨネクラ

山口薬品株式会社

フタバ鶏卵株式会社

株式会社鹿島ショッピングセンター

株式会社ユーエヌディー

株式会社布分

MUSIC PLAZA 白水堂

荒川産業株式会社

【参加者の意見、感想】

- NPOのことはよくわからなかったもので、少し理解できたように思える。
- 以前、協働で事業を行ったNPOも今回参加するようだが、当時とはまた違った取り組みをしているようなので、情報のアップデートが必要だと思った。
- 自分が暮らしている地域にどんな課題があるか知ることがあまりできなかったが、NPOの取り組みを見ることで地域課題を知ることが出来ると思った。
- 昨年度もこの事業に参加したが、企業との情報交換会は今年度初めてと聞き参加した。事前にこのような情報提供をいただけるとありがたい。
- Zoomであれば、気軽に参加できるので良かった。
- NPOの活動については理解が進んだ。当社としては一方的な支援ではなくwin-winの関係を望んでいるので、そのような連携が出来るのかが不安な点である。
- 事前の情報提供はありがたいが、やはりまだNPOについてはわからないことが多い。マッチング会の当日じっくり話を聞いてみたい。

【企業向け募集チラシ】



出会いが 気づき、ひらめきを生み出す！
NPOと企業等のマッチング事業
参加企業大募集！

NPOと企業等との協働を支援する「NPOと企業とのマッチング事業」を以下のとおり実施します。企業のCSRの一環として、地域に定着して活動しているNPOとのコラボレーション(協働)を考えてみませんか？この出会いがこれからのビジネスチャンスにつながるかも知れません。皆様の参加をお待ちしております！

情報交換会 11月19日(木) 内容: オンラインで開催。NPOに関する基礎知識、参加NPOの概要やマッチングの事例など、マッチング会に参加する前に知っておきたい情報を提供します。

マッチング会 内容: NPOによるプレゼンテーションの後、御希望のNPOと個別面談を行う時間を設けます。NPOとの出会いの場として御活用ください。

12月1日(火) 郡山市 ミュールがくと館 大ホール	12月10日(木) 福島市 市民活動サポートセンター 会議室
12月2日(水) 会津若松市 アヒオスペース 大会議室	12月11日(金) いわき市 いわき産業創造館(ラトブ) セミナー室

※開催時間は各とも13時30分～16時30分です。

※参加無料です。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加人数は1社につき2名までとさせていただきます。
※定員になり次第締め切らせていただきます。
(各会場25名まで)

申し込み締切 令和2年11月13日(金)

事務局/ふくしま地域活動団体サポートセンター (担当: 遠山・青藤)
〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階
TEL.024-521-8206 FAX.024-523-2741
E-mail: f-matching@f-saposen.jp URL: https://fnpo-matching.f-saposen.jp/
※当事業は福島県からふくしま地域活動団体サポートセンターが委託して実施します。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開催の方法が変更になる場合があります。

送付先 メール f-matching@f-saposen.jp FAX (024)523-2741

令和2年度「NPOと企業等のマッチング事業」
参加申込書

※参加無料

御社名	
参加者名	※2名まで
電話番号	
メールアドレス	※情報交換会はオンライン開催になりますので、必ず御記入願います。オンライン会議について不明な点がある場合はお気軽に御相談ください。
参加会場	<input type="checkbox"/> 情報交換会 11/19(木) Zoomを利用したオンライン開催となります。 マッチング会 時間は各回 13時30分～16時30分です。 ※定員は各会場25名まで
参加希望の会場をお選び頂き、口内にチェックを入れてください。 ※複数の会場に参加することがあります。	<input type="checkbox"/> 12/1(火) 郡山市ミュールがくと館 大ホール <input type="checkbox"/> 12/2(水) 会津若松市アヒオスペース 大会議室 <input type="checkbox"/> 12/10(木) 福島市市民活動サポートセンター <input type="checkbox"/> 12/11(金) いわき市産業創造館(ラトブ) セミナー室

申込締切 令和2年11月13日(金)
(会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます)

この申込書はマッチングWEB <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>からもダウンロードできます。
お問合せ先 ふくしま地域活動団体サポートセンター TEL(024)521-8206 遠山・青藤

使用した資料

- ① 講義資料：「アプローチ講座」等で使用したものと同一
- ② マッチング事例集：「アプローチ基本講座」等で使用したものと同一
- ③ マッチング会・参加団体一覧

<p>郡山会場(7団体) (12/1)</p> <p>NPO法人 青空保育たけの子 子ども健全育成を目的とした社会福祉事業。差別事例により外遊びの利便性を確保した子どもには形次第的に拠点を転移などの事業を実施している。</p> <p>NPO法人 ビーンズふくしま 福島市で「子ども食堂」を運営。 その他、不登校の子どもの居場所としてのフリースクールや、虐待で避難した子どもが生活困難などを実施している。</p> <p>NPO法人 チームふくしま 海外などから帰入した子どもの居場所を福祉作業所でフリースクールとし、全部の障がい者支援に重点を置いた上で、障がい者を使い福祉作業所でみまもり回をつくり、障がい者や障がい者家族などをサポートする「むらびり実践プロジェクト」を実施している。</p> <p>NPO法人 こども緊急サポート郡山 災害時や被災地でニーズが多い子ども一時預かりや宿泊、代行送迎などを実施している。</p> <p>NPO法人 あいメッセージ 福祉作業所、児童発達支援センター等の施設、自治体等に対して「工夫」として報酬を支払う形態を運営している。</p> <p>NPO法人 小野野自然倶楽部 小野野や周辺地域の子どものための対象とし、環境保全への理解づけを推進するため、自然とのふれあい体験や自然などの取り組みを行っている。</p> <p>(任意団体) 喜多方音楽協議会 喜多方より喜多方地域の活性化や他地域との交流人口の拡大を目指す活動を実施。喜多方で最大規模の音楽イベント「ROCKDAY」を主催する。</p>	<p>会津会場(6団体) (12/2)</p> <p>NPO法人 チームふくしま 「郡山でも参加」</p> <p>一般社団法人 Fukucier(ふくしえる) 高齢者、障がい者やその家族と介護人材を結びつけるマッチング事業や介護人材の確保に力を入れている。</p> <p>NPO法人 ピーターパンネットワーク 障がい者の教育実践事業として、居宅作業所の運営、施設内訪問、社会やパンの活動を行う「フレンズ」の運営などを行う。</p> <p>NPO法人 CHANT 「Fukucier」という居宅作業所を運営。毎月、施設住民を招いての障がい者との交流事業も行っている。現在はコロナによる影響あり。</p> <p>NPO法人 つなぐ舎 会津地区に於ける「人と人とのつながり」を重視し、暮らしやすい地域を作るために子ども支援の運営や地域文化の継承などを目的とした伊達の自治体などを行っている。</p> <p>(任意団体) 喜多方音楽協議会 「郡山でも参加」</p>
<p>福島会場(6団体) (12/10)</p> <p>NPO法人 ヒューマンネットワークふくしま 文化活動やイベントの企画運営事業。福祉工芸品や福祉用品の普及事業、また高齢者への介護支援などにより、地域活性化や住民みよびづくりに取り組んでいる。</p> <p>NPO法人 桑野町共に生きる社会を創る会 障がい者の就労の場である「特別支援施設作業所(桑野町・輪楽園(わらん))」を運営。障がい者や家族の必要な事業を行う。</p> <p>NPO法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ スポーツを通じた豊かな地域社会の構築、子どもの健全な育成を目的に、子どもサッカークラブや高齢者向け体操教室などを実施している。</p> <p>NPO法人 青空保育たけの子 「郡山でも参加」</p> <p>NPO法人 ビーンズふくしま 「郡山でも参加」</p> <p>一般社団法人 Fukucier(ふくしえる) 「会津でも参加」</p>	<p>いわき会場(5団体) (12/11)</p> <p>NPO法人 共創のまちサポート 子どもの健全育成や他地域との連携づくりを目的とした「コミュニティ食堂」を運営している。</p> <p>NPO法人 いわきF.P.・オーらいふ 3歳フラインクセッション、ボランティア研修講座、生活設計相談、青少年の生涯教育を実施している。</p> <p>NPO法人 いわき緊急サポートセンター いわき市のイーローの1階内で、子どもの一時預かりや、子育てなどの悩みに対する相談対応、医療・福祉分野の専門家の紹介などを行う「すくひの広場」を運営。 その他、地域住民のらんのケアなどを行う。</p> <p>NPO法人 ダンス倶楽部 東日本大震災で被災した子どもの支援活動として、障がい者や障害者(ダンス、歌唱)による子どもたちのための交流支援活動の事業を実施。ボランティア活動などの「場」の提供なども行っている。</p> <p>NPO法人 ままはーと 児童発達支援や家庭訪問型サービス、生活介護を行う「どりーむず」(Fukucier)を運営している。</p>

(4) NPO と企業とのマッチング会

■ 実施概要

「NPO と企業とのマッチング会」は、12月1日から同11日にかけて、県内4会場で実施した。形式は従来通り、NPO が自団体の活動のプレゼンテーションを行い、地域課題や連携ニーズについて企業に情報提供し、全団体のプレゼンテーション終了後に NPO と企業が1対1で対話する時間を設けた。

■ プログラム

- ① 開会、趣旨説明
- ② 参加者自己紹介
- ③ 講師による講義
- ④ NPO によるプレゼンテーション
- ⑤ 個別マッチング
- ⑥ 今後のアフターフォローの説明、閉会

■ 各会場の実施状況

【郡山会場】

日時：令和2年12月1日(火) 13:30～16:30

場所：郡山市ミュージカルがくと館 大ホール

講師：NPO アドバイザー 遠藤智栄氏

参加 NPO

- NPO 法人 あいメッセージ
- NPO 法人 青空保育たけの子
- NPO 法人 小野自然倶楽部
- NPO 法人 子ども緊急サポート郡山
- NPO 法人 チームふくしま
- 喜多方音楽協議会
- NPO 法人 ビーンズふくしま

参加企業

- 鈴木行政書士事務所
- ikkohG' s office

株式会社 Mot.com もとみや
株式会社 郡山コミュニティ放送
株式会社 ヨネクラ
有限会社 ありがとう保険サービス

参加者からのコメント

〈NPO〉

- みなさん熱心に話を聞いてくださいました。まずは会報を送らせていただくことを約束できたので良かったです。またこういう機会があれば参加したいです。
- 広報の協力をいただける声が聞かれたので良かった。
- 関心を示してくださる企業があるか心配でしたが、そんなことがなく助かりました。
- 助成金の窓口も紹介して下さい、ありがたかったです。
- はじめての発表となりましたが、伝えたいことの半分も伝わりませんでした。今後機会があれば、しっかり伝えられるよう頑張ります。
- 企業様より具体的な質問やアドバイスをいただき、大変勉強になりました。
- 繰り返し練習することが大事なことで場に慣れることが大切だと思いました。
- 各企業様との面談は協働とはあまり関係ない話をしていましたが、それがまず第一の関係性を築くのだろうと思いました。
- 他団体のお話や活動をうかがうことも勉強になりました。
- 数年ぶりに会う方や、昨年度お話しした方ともお会いでき、関係性が深まりました。
- 企業さんと具体的なお話をすることが出来ました。

〈企業〉

- NPO 様の思いと行動を知ることが出来ました。NPO 様のような考え方を私も持たなければならぬと思いました。
- プレゼンで企業の求めることが伝わりにくい団体もあった。
- 良い情報交換ができた。
- 今の子ども達が必要なことに取り組んで切るのを見て感心します。
- これから何か出来ることを協力したい。
- 様々な方のお考えに触れることが出来ました。

- お手伝いできる NPO さんがありましたので、今後連絡します。
- 自信をもって活動している皆様の個性が参考になりました。
- 出会いは必要なので今後も継続し、マッチングに結び付けたい。
- 企業間のマッチングの時間もあればいいですね。

【会津会場】

日時：令和2年12月2日(水) 13:30～16:30

場所：会津アピオスペース 大会議室

講師：NPO アドバイザー 遠藤智栄氏

参加 NPO

喜多方音楽協議会

colorful (NPO 法人 CHANT)

NPO 法人 チームふくしま

一般社団法人 fukucier (ふくしえる)

NPO 法人 ピーターパンネットワーク

参加企業

株式会社 布分

MUSIC PLAZA 白水堂

株式会社 オクヤピーナッツジャパン

株式会社 荒川産業株式会社

株式会社 アイデア

参加者からのコメント

〈NPO〉

- 協働の可能性と将来性を実感しました。
- 面談で、マッチングだけでなく企業の方の事業に対する考え方などを聞いたのが本当に良かった。
- 楽しく面談を進めることが出来ました。
- 皆様からたくさんのご意見をいただき、これから生かしていきたいと思いました。
- こちらのお願いばかりでなく、企業側からのご提案をいただき、より「協働」に近い話をする事が出来ました。

- 本日の出会いを今後につなげていけるようにアクションを取りたいと思います。

〈企業〉

- NPOを知ることが出来た。色々な仕事があることがわかり、今後の参考にしたい。
- 企業とNPOの関わりの場をもっと多くすることで、事業展開が増えると感じました。すでに就労支援施設との協業を行っていますが、他のNPOとの連携はよりコミュニケーションが必要かと感じました。
- 一般の企業と違ったコラボレーションが出来そうだと思います。
- 情報交換をすることで、互いに価値観が合致したところでコラボが生まれると思います。こういう場は必要だと思います。
- 具体的に農福連携や商品開発ができそうです。

【福島会場】

日時：令和2年12月10日(木) 13:30～16:30

場所：福島市市民活動サポートセンター B会議室

講師：NPOアドバイザー 遠藤智栄氏

参加NPO

- NPO 法人 ビーンズふくしま
- NPO 法人 青空保育たけの子
- NPO 法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ
- 一般社団法人 fukucier(ふくしえる)
- NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会
- NPO 法人 ヒューマン・ネットワークふくしま

参加企業

- 鈴木行政書士事務所
- 株式会社 いちい
- 株式会社 高正
- 渋谷レックス株式会社
- 伊達貨物運送株式会社
- 有限会社 むもん

参加者からのコメント

〈NPO〉

- 実現性の高いお話が何件も出来ました。
- 企業様の説明やプレゼンもあるとより理解が深まると感じました。
- 企業の皆様とお話してきたことはもちろんですが、自団体を振り返る良い機会になりました。
- 自然の中で伸び伸び育てる保育園、素晴らしいです。農と食まで踏み込んでいて素晴らしい。
- いい出会いがたくさんありました。まずは月1回の会報を送らせていただくことになりました。そこから繋がっていければと考えております。
- 県内の他の子ども食堂間での情報交換はありますか？

〈企業〉

- NPOの皆さんのことを良く知らなかったため大変参考になりました。
- 面談で具体的なプランも出てきました。お会いして情報交換することは本当に大切ですね。
- 視点が面白い団体がありました。

【いわき会場】

日時：令和2年12月11日(金) 13:30～16:30

場所：12月11日(金) いわき産業創造館 セミナー室

講師：NPOアドバイザー 遠藤智栄氏

参加NPO

NPO法人 ダンス博

NPO法人 いわき緊急サポートセンター

NPO法人 ままは一と

NPO法人 共創のまちサポート

NPO法人 いわきFP・e-らいふ

参加企業

いわき信用組合

日本政策金融公庫 いわき支店

株式会社 鹿島ショッピングセンター

株式会社 ユーエヌディー

株式会社 いわき市民コミュニティ放送

参加者からのコメント

〈NPO〉

- 初めての参加でしたが、有意義な時間でした。次回は更に深掘りしたいです。
- 普段お話しできない企業の方とお話しすることが出来、事業の周知も図れてよかったです。
- プレゼンの時間、あと2分欲しいです。
- その場でQ&Aができればいいと思います。
- 次回も参加したいと思います。
- それぞれの企業さんのお話を伺って、マッチングや協働の難しさを感じつつ、つながっていくことの大切さが理解できた。
- NPOの活動のあり方について話し合うことが出来、活動意欲が湧きました。

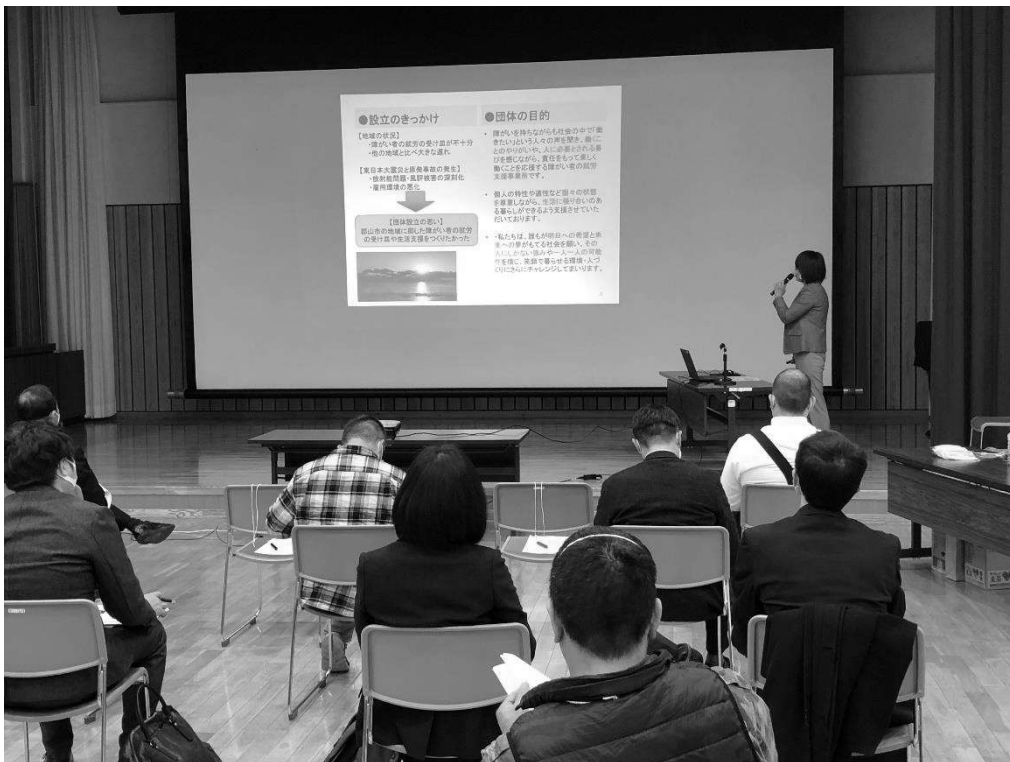
〈企業〉

- いわきで様々な活動をされている方と出会え、勉強になりました。
- 志を持った方がいろいろなことをされていることを知りました。
- 自分の立場では知りえていない情報をいただくことが出来ました。
- プレゼンをされた方々の熱の入ったお話しや活動を知り、人の温かさを感じ、いわき市民として誇りを感じました。
- 企業として、また個人として出来ることを発見したいと思います。
- NPOさんとの密な関係を築けそうです。

マッチング会の様子



[講義の様子：12月11日 いわき会場]



[参加NPOによるプレゼンテーション 12月1日 郡山会場]



[NPO と企業の 1 対 1 での対話の様子 1 2 月 2 日 会津会場]

参加 NPO のプレゼン資料

NPO法人あいメッセージ



「困難な依頼」
でも

理事長 森田 重子

私たちの思い、考え

地域での問題


- 現在、郡山市で障がい福祉サービス事業を運営
- 主に清掃作業(ビジネスホテル、旅館の清掃の委託)を中心に活動

目指す地域の姿

障がいを持つ方の働く場所をつくり、親なき後も自立し、誰もが希望や夢を持って働けるような地域社会を目指していきます。

コロナの影響で観光業の仕事が激減

障がいを持つ方の働く場所を開拓しています。



利用者さんの変化・成果や企業様からの声

【利用者さんの様子】

- 生活リズムが整ってきた。
- 身だしなみが良くなりかっこよくなってきた。
- スマートになった。(体重が減った)
- 明るく張りのある顔になってきた。
- お話が上手になってきた。
- お掃除が上手になり、仕事に対して自信が持てるようになってきた。


【企業様から】

- いつも、元気に挨拶してくれるので気持ちが良いです。
- 素直で優しい方が多いです。
- 真面目に仕事をしている姿に、いつも感心しています。私たちが見習わないといけないですね。
- 一緒にいると、楽しく温かい気持ちになります。

企業に向けてメッセージ

あいメッセージの基本指針

- 挨拶をこころがけること
- 相手を思いやる心をもつこと
- 感謝のこころをもつこと
- 履物をそろえること
- 報告・連絡・相談をすること



5つの基本指針を心に持ち、
今日も、ひとさまのお役にたつことです！

●設立のきっかけ

【地域の状況】

- 障がい者の就労の受け皿が不十分
- 他の地域と比べ大きな遅れ


【東日本大震災と原発事故の発生】

- 放射能問題・風評被害の深刻化
- 雇用環境の悪化

●団体の目的

- 障がいを持ちながらも社会の中で「働きたい」という人々の声を聞き、働くことのやりがいや、人に必要とされる喜びを感じながら、責任をもって楽しく働くことを応援する障がい者の就労支援事業所です。
- 個人の特性や適性など個々の状態を尊重しながら、生活に張り合いのある暮らしができるよう支援させていただいております。
- ・私たちは、誰もが明日への希望と未来への夢がもてる社会を願い、その人にしかない強みや一人一人の可能性を信じ、笑顔で暮らせる環境・人づくりさらにチャレンジしてまいります。

【団体設立の思い】
郡山市の地域に即した障がい者の就労の受け皿や生活支援をつくりたかった



活動紹介

就労継続支援A型

- ビジネスホテルの清掃
- 旅館の清掃
- 環境整備等の請け負
- 建物内外の定期清掃



就労継続支援B型

- 内職作業（車のコンプレックスバリ取り、ボールペン組立、封入作業等）
- ポスティング
- 建物内外の定期清掃
- 除草作業
- 物品販売活動
- レクリエーション活動



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること


障がいを持つ方の働く場所

主に清掃作業(ビジネスホテル・旅館の清掃の委託)を中心に活動していますが、今回のコロナの影響で観光業の仕事が激減してしまい、障がいを持つ方の働く場所も減っています。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

障がいがあっても、どんな仕事に対しても、コツコツと真面目にきれいに仕上げます。

彼らの個性を活かし、協働のできる仕事を一緒に知恵を絞って探してみませんか。





●設立のきっかけ
 経済的には豊かな時代になった日本だが、子どもたちが将来に夢をもてないまま大人になり、世界的にも青少年の自死が多い国であることに疑問を持った。

●団体の目的
 子どもも大人も共に成長し、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる子どもを育てることを目的としている。

子ども時代に思いっきり遊ぶことで変わるのではないかと思い、「青空保育たけの子」を創設し、昨年で10周年を迎えた。

私たちの思い、考え

◆地域の課題
 課題(1)
 子どもたちのAKB(あぶない・きたない・ばかばかしい)な遊びを保障する環境(自然・人的・社会的)が整っていない。

●目指す地域の姿
 「産の上のポニョ」の舞台になったような、子どもの居場所と大人の居場所が隣り合わせで、自然豊かな環境でお互いに刺激し合える地域。

課題(2)
 原発事故そしてコロナと、子どもたちが特に自然の中で遊ぶことが困難になって免疫力も落ち、居場所がない。

活動紹介

震災後、要望に応えて事業拡大

野外保育、森のムッレ教室、冒険遊び場、食農教室、空と土の交流広場、民泊、カフェ

民泊・カフェを除く事業は原発事故を起こした大人の責任としてすべて福島へ米沢間無料送迎

卒園児の保護者から

たけの子に通う前の娘は、ハエがうでに止まっても泣いていたのに、今ではカナチョロのオスとメスを捕まえて卵を孵化させ、育てるくらいになりました。

息子は切め、木に登ることすら助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けません。」と言われて、私には衝撃でした。考えてみたら、昔は大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見て憧れて嬉しかったり、またできなくて悔しかったりという経験が、たけの子で初めてありました。

失敗の経験が大事

協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること
 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

地域課題を解決していくNPOとしてその役割を果たしているのが、今問われている

福島の子どもたちのため、わたしたちの強みを活かした自然体験活動等の企画の意見・要望

企業に向けてメッセージ

こども達が自分で作ることができる昔ながらの食事づくりと一緒に⇒《新しいこども食堂》づくり
 コロナ禍の中、雑穀中心の日本食によってこどもたちの免疫力をあげたい!

つぶつぶ未来食の給食 10月からスタート!

ウンチが変わった!!

特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

※林研グループ事業の発表会において、県中代表として出席、最優秀賞（県知事賞）に選ばれました。



私たちの思い、考え

▶地域の課題
※深刻な過疎化、少子化

- 少年の団体活動 48個人競技へ移行推進
- 産業革命のための森林伐採の減少
- 地方での遊びや体験の減少(別荘化)

↓

小学生の肥満が進んでいるためその対策が急務

●目指す地域の姿

今後、若者の人口比率が落ちないようであれば、今の子どもたちをいかに成長させるか、そして将来地域の担い手として活躍してもらうにはどうしたらよいのか？

国庫補助(野鳥)と県補助(野鳥の森)を4年申請し、今年認定されました。森林体験、スポーツなどを通して健康、北海道全域のカーリング競技などのように地域全体で応援できる子どもの育成に関わっていくことができれば最高だと考え、コースを設定いたしました。

林研グループ活動紹介②



令和元年度公園利用者数

開園期間 4月1日～11月末日

年間利用目的別割合



公園以外で依頼を受けた事業が14件延べ1,800人を数えます。

月別利用者数の推移



●一般 ●スポーツ ●子ども ●高齢者 ●イベント

来年度の活動予定

私たち小野自然倶楽部は、子供達の成長を促進して地域での自然体験などを通じて地元の良い成長を感じてもらい、結果この地域において各分野でのリーダーとなり活躍し、「次世代につなげていく」と言ったことが大切だと考えております。

今年度は、県上げた国有地内に遊歩道、MTBコース設置を行いました。また今年度、実のなる木の植林を行いました。(林、カシ、栗等)

その他に、こまろダム、豊井川を利用して、カヌーやヨットの体験も随時できるようになります。

小野ダム湖の環境、ダムを利用し、観光や地域の人たちが利用し、気軽に参加できる、バイク、カヌー、ランニングの「バ・カ・ラ・ス・ロ・ン」の開催を自粛します。



設立のきっかけ

小野町内において2年続けて不審火による火災で5人の子どもの命が奪われました。他の地域でも自然のなかでの事故などで多くの子どもが犠牲者が出ているため、自然体験、アウトドアスポーツを推進するため2005年に設立しました。

団体の目的

小野町を中心とした田村郡地域とその周辺の子どもたちに対し、地元での環境学習、自然体験活動、食育体験を通して、地域の自然環境保全、自己の危機意識の確立などを図ります。その推進を次世代まで引き継いでいくように活動することを団体の目的としております。



林研グループ活動紹介①



4年間林研グループの助成を受け参加者の反応や変化

5年前、「公益財団法人日本環境協会との合同事業で助成を受けていただき、植林したことで、苗木が生育、2mくらいに成長いたしました。

そのときそのときボランティアで参加した小学生がたった彼らたちが今、中学や高校生へと成長しております。

この子たちが、大人になり自分の子供がどんでり遊びや、登山に連れて行かれるようになるべく、環境を豊かにしていきたい、と参加した大人の方々が感じていたと思います。
「遊ぶのは、ホブクリ」



今年度の活動

今年度行った樹の植林活動とその作業道を併用して行ったMTBの3時間制レースの上です。樹の植林には100名の参加者、3つのレースには70名の参加者から集まりました。今年度最終のMTB耐久レースには50名の参加者を迎えました。





● 設立のきっかけ

子育て中の親が、病気や仕事の時に

- ・ 子どもの預かり
- ・ 保育所、学校塾、病院等への送迎等を4年間実施

親に代わって行う事業を4年間実施

他の事業では、急な要請だったり、障がいがあったり、深夜、中高生は出来ないで困っている親がいる

設立し、継続して行わなければならないと思ひ設立。

● 団体の目的

子育て中の親に対し

- ・ 緊急時の子どもの一時預かり
- ・ 送迎等の子育て支援の活動

安心して子育てができる街作りに寄与する

私たちの思い、考え

地域での問題	目指す地域の姿
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の間での交流が減り、共働きやシングル親はちょっとした困りごとでも解決できない。 ・ 障がいを持つ子どもを受け入れる施設がこの地域に無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や他地域からの転入者も暮らしやすいような、住民同士の交流や助け合いが自然に生まれるような地域 ・ 障がいを持つ子どもの親の負担が軽くなるような仕組みがある地域

活動紹介

□ 私たちは、仕事や病気などで困っている親のお子さんを預かたり、保育所や学童・塾等への送迎、また代行受診などの事業を行っています。

- ・ 現在の登録者は、77名
- ・ シングルの方や共働き、障がいがあるお子さんが多いです。
- ・ 24時間の研修を受けて認証を受けたサポーターが、現在25名

地域、市民、参加者の反応や変化・成果

☆ 仕事が終わって迎えに来たお母さんが、ホッとした表情になって子どもを受け入れて、子どもも笑顔になる

☆ お母さんからの声

- ・ 障害があるのでこども見てくれる所が無いので、助かっている。
- ・ 早く出勤する時に、見てくれる人がいないので助かっている。
- ・ 急に残業になり、子どもを迎えに行けないので助かっている。
- ・ 出産で保育所に迎えに行けないので、助かっている。等

協働に向けて

<p>活動・組織での悩み</p> <p>困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当団体を取り組む事業を知らない人が多い ・ 市内の各地にサポーターを配置出来るように増やしたい 	<p>企業と協働したいこと</p> <p>サポートしてほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て中のお子さんの、託児を行っていますので、企業の皆さんに利用してほしいです。 ・ どうすれば利用してもらえるか一緒にアイデアを出して頂きたいです。 ・ 子育て中の親が、仕事に支障をきたさないようにできるこの事業を知ってもらい、宣伝、広報の協力をお願いしたいです。
---	---

企業に向けてメッセージ

♥ 私たちと一緒に住み良い街をつくりましょう

♥ 是非、私たちの事業にご協力下さい。

よろしくお願ひいたします。



福島ひまわり里親プロジェクトの概要

特定非営利活動法人 チームふくしま
http://www.sunflower-fukushima.com

1. NPO法人 チームふくしまの概要

For you For Japan

すべての人々が夢と志を持って
最幸の人生を送ることができる社会の実現に向けて



team fukushima

我々は
自分の為ではなく、誰かの為に行動する

2. 福島ひまわり里親プロジェクトの概要

(1) 福島ひまわり里親プロジェクトとは・・・ 2011年5月スタート

2011年3月に発生した東日本大震災後、福島県の有志により始まった「福島県に『復興のシンボル』としてひまわりを植えよう」という活動です。

全国の累計50万人以上の里親さんが育ててくださった“ひまわり”を福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の『絆』を深めるプロジェクトです。

全国と福島の絆づくり

- 全国の里親さん：日本全国の累計5,000校以上の学校、教育機関、各企業など累計50万人以上の里親さん（ひまわり育成者）が、福島の復興を願いひまわりを育ててくださっています。
- 福島にひまわりを咲かせる：全国の里親さんが育てたひまわりの種を、福島県内に植え、花を咲かせ復興のシンボルとします。

このプロジェクトを通して、障がい者作業所の仕事、観光、教育につなげ、また、全国と福島、人と人、思いと思い・・・多くの感動の物語が生まれます。ひまわりによる『絆』の実現、それがひまわり里親プロジェクトです。国内のみならず海外へも広まっております。

全国と福島の絆づくり

福祉雇用
観光 教育
風化対策

当初は放射能をひまわりで吸収させる計画→健康効果が見られない
全国の里親さんの応援でチームふくしま

1. NPO法人チームふくしまの概要

2. 福島ひまわり里親プロジェクトの概要

3. トピックス

4. プロジェクトのこれから



名称	NPO法人チームふくしま（特定非営利活動法人チームふくしま）
所在地	〒960-8055 福島県福島市野田町六丁目7番8号 ツインコートB-103
設立	2011年（2012年2月22日法人格取得）
組織	理事長 甲田真仁 会長 田本孝志 理事 吉内孝典、他内孝典、本名創、藤島康史、船岡由美、安藤文江、佐藤智恵、澤菜子 監事 大和田勲
目的	災害被災地域での復興支援に関する事業、福島から日本を元気にする事業を行い、すべての人々が夢と志を持って最幸の人生を送ることができる社会の実現に寄与することを目的とする。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の推進を図る活動 まちづくりの推進を図る活動 観光の振興を図る活動 震災山村又は中山間地域の復興を図る活動 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 環境の保全を図る活動 災害救済活動 人権の尊重又は平和の推進を図る活動 子どもの健全育成を図る活動 経済活動の活性化を図る活動 職業能力の向上又は雇用機会の拡充を支援する活動
メンバー	メンバーは県内の経営者、職員、会社員等の有志で構成

(2) プロジェクトの流れ



① ひまわりの種の製造
被災者のまわりの種を、震災で被害が深刻な被災地の障がい者の作業所でパッキングし、全国の里親さんへ配布します。→障がい者作業所の仕事につなげます。

② 全国へ発送
全国の障がい者作業所へ、学校や企業に、各地域で委託店などを開きながら配布していただきます。→障がい者作業所の仕事につなげます。

③ 全国での種を植える
全国各地でひまわりの種を、福島の復興へつなげます。全国の障がい者作業所で育てられた種にもつなげます。→障がい者作業所の仕事につなげます。

④ バイオエネルギーとして活用
福島の復興に貢献した種は、バイオエネルギーとして活用し、バスやトラックの燃料として活用します。→障がい者作業所の仕事につなげます。

⑤ 復興のためにひまわりの種を
被災地にたくわんしたひまわりの種を、障がい者作業所や福祉施設に配布し、障がい者作業所の仕事につなげます。→障がい者作業所の仕事につなげます。

⑥ 復興のためにひまわりの種を
被災地にたくわんしたひまわりの種を、障がい者作業所や福祉施設に配布し、障がい者作業所の仕事につなげます。→障がい者作業所の仕事につなげます。

福祉雇用

～障がい者福祉作業所の雇用につながっています～

- NPO法人和（なごみ）/福島県二本松市
ひまわりの種の選別・袋詰め・グッズ製作
福島県内で採れた種から搾油 など
- ほっとライフ/福島県福島市
全国から届いた種の選別・袋詰めなど
- 障がい者福祉サービス事業所菊の里/福島県二本松市
ひまわり油をバイオ燃料に変換

福島交通株式会社がバイオ燃料を購入し、バスの燃料に

プロジェクトの各作業は、震災により仕事が激減した福祉作業所で行ってもらうことにより、障がい者の仕事の確保につながっています。

教育

～全国の教育現場で『絆』のひまわりが活用されています～
子ども達が授業や生活活動、ボランティア活動の中で育て、花を咲かせ、採れた種を福島に送り返すことで被災地の復興の手助けとなり、このひまわりを育てることを通し、人権教育、道徳教育、地域や学校間での『絆』づくり、震災教育に繋がっております。

平成26、27年度 中学校生徒「絆」プロジェクト(2014、2015)「見る、聞く、体験」公民科 2014、2015年に開催

福島県教育委員会発行「ふくしま震災復興支援事業」に掲載

学校の先生や保護者の皆様からのご支援が、プロジェクトをこころよく、全国のプロジェクト参加校の子ども達に届けています。

児童科の教科書「(教科書) 国語3年3巻の教科書 理科実験の教科書3巻」に掲載

福島のまわり愛護プロジェクト

観光

～ひまわりを活用した各種イベントを開催～

- 市内にたくさんのひまわり畑
観光客から人気のひまわりの産地を市内各地の団地や個人に普及。2012年から配布を始め、2019年度までに25万袋以上を配布。福島県内各地にひまわりが咲き、観光名所となりました。
- ひまわり結婚式
『絆』の種を育て、育った道徳のひまわり畑の中で挙式する『ひまわり結婚式』を実施しています。
- ひまわり甲子園
『震災があったからこぼつた物語』を発表するひまわり甲子園。各地方で開催される地方甲子園の代表、福島県内の各都府県に、を行う他、種の高橋式、全国と福島県内の皆さんとの交流会などを実施しています。

福島のまわり愛護プロジェクト

2020年 ひまわりの種苗販売

福島のまわり愛護プロジェクト

3. トピックス

(1) 国内はもとより海外からも注目されるプロジェクト

2014年、2015年フジテレビが主催するお台場のイベント会場にてプロジェクトのひまわり栽培。イベントでは、舞がき若狭社作業所の方やプロジェクトに参加する子どもたちの『ひまわり』の歌も披露された。フジテレビの種は、福島県内各地に寄贈され、福島空港メカソーラーで栽培。

海外の各メディアからも多数取材

福島ひまわり愛護プロジェクト

(2) ひまわりバス運行 (協力: 福島交通株式会社)

ひまわりバスは、全国の避難者さんから送っていただき、福島県内で咲かせたひまわりから採れた種から油をつくり、それをバイオディーゼルの燃料として走らせるものです。現場にやさしいこのエネルギーは、福島県の皆さんと全国の方々の想いを集めて、2台の福島市内循環バスに採用されています。
～舞がき若狭社作業所の雇用に繋がっています～

福島ひまわり愛護プロジェクト

(3) 震災後激減した教育旅行のきっかけに

- 修学旅行 ～東京都立葛飾南中学校～
プロジェクトがきっかけになり葛飾南中学校の生徒の修学旅行の行き先が福島に。生徒の一人は、福島出身で震災後東京に避難しており、本校では福島県立高等学校に通っていて、平成27年度の修学旅行では、北茨城をたつたとの交流も生まれました。
- 被災地訪問 ～福井県福井市PTA連合会・鯖江市立待小学校～
福井県福井市PTA連合会・鯖江市立待小学校の皆さんが、福島県を訪れ、避難地になっている川原町・大塚地区の教会さん、津江町の牧師様宅で種と高橋メッセーのプレゼントをいただきました。

福島ひまわり愛護プロジェクト

(3) 全国から届けられた応援メッセージ、アーカイブ化へ向けて寄託

これまでに全国から届いた約2万通以上の福島復興応援メッセージをアーカイブ化し、未来へと伝承・伝達していきます。2020年9月に福島復興復興時に開館した「東日本大震災・原子力災害伝承館」に応援メッセージを展示いただいています。

福島ひまわり愛護プロジェクト

(5) 南東北インターハイ(2017年) 福島市の会場にひまわりのプランター設置

南東北インターハイ(2017年)の会場の1つになっていた福島県福島市のあづま総合体育館にひまわりのプランター40個を設置し、会場を訪れた全国の選手の方皆さんを歓迎しました。

福島ひまわり愛護プロジェクト

(6) 東京2020オリンピック 聖火ランナーに理事2名選出




聖火ランナー続々決定
スポンサー特

2019年12月10日
福島民報 掲載記事

17 福島ひまわり支援プロジェクト

(7) ひまわり甲子園 全国大会 ～ひまわりによる感動の物語～

関東・東海・信州・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄地区の地方大会より選出された全国各地区の代表者が福島に集結し、プロジェクトを通じて生まれた「感動の物語」を発表します。







18 福島ひまわり支援プロジェクト

(8) 主な受賞歴

- 2013年 12月 バトンリレー教育財団主催 「つどむらからつどむらへ」 最優秀賞
- 2014年 3月 福島県と福島県民会館主催「あふまらば」 奨励賞
- 2014年 12月 福島県とエゴジャパンのコミュニティの国際交流協会主催「Aomori Japan Cup 2014」 特別賞
- 2015年 11月 公益財団法人あしたの日本を創る会主催「あしたのあふまらば」 特別賞
- 2016年 12月 福島県主催「あふまらば」 特別賞
- 2016年 11月 公益財団法人社会貢献支援財団主催「あふまらば」 特別賞
- 2017年 11月 「新しい東北」復興推進協議会主催「あふまらば」 特別賞
- 2018年 3月 福島県主催「あふまらば」 特別賞
- 2018年 3月 住友生命保険相互会社主催「あふまらば」 特別賞
- 2018年 11月 一般社団法人日本銀行会主催「あふまらば」 特別賞

19 福島ひまわり支援プロジェクト

第47回社会貢献者表彰




2016年11月28日
公益財団法人社会貢献支援財団 会長 安部昭彦様より表彰状を拝受いたしました。
このプロジェクトの活動にご賛同いただいております全国の皆様と一緒に頑張っています。

20 福島ひまわり支援プロジェクト

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト

2017年11月8日
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト企業賞 損保ジャパン日本興亜賞をいただきました。



【損保ジャパン日本興亜様より評価コメント】
「ひまわり」を福島の象徴のシンボルとするこのプロジェクトが、様々な用途、学校の遊学教材としての活用につながり、さらには地域の観光振興の実現に向けて取り組まれている点を高く評価しました。今後の更なる発展に期待しています。




21 福島ひまわり支援プロジェクト

損保ジャパン日本興亜株式会社様

ゴッホ「ひまわり」とのコラボイベント

2018年6月2日
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト企業賞 損保ジャパン日本興亜賞をいただきましたことをご報告し、損保ジャパン日本興亜株式会社様から、「ゴッホ」ひまわりとのコラボイベントを開催。





22 福島ひまわり支援プロジェクト

第3回ふくしま産業賞

2018年2月16日
「第3回ふくしま産業賞」特別賞をいただきました。




2017年12月8日(金)
福島民報 掲載記事

2018年1月10日(水)
福島民報 掲載記事

23 福島ひまわり支援プロジェクト

第11回「未来を強くする子育てプロジェクト」

2018年3月12日
住友生命保険相互会社主催の第11回「未来を強くする子育てプロジェクト」子育て支援活動の表彰において、「アスセイ未来賞」をいただきました。




2018年3月13日(火)
福島民友新聞 掲載記事

24 福島ひまわり支援プロジェクト

○日本善行会「平成30年度秋季善行表彰」
2016年11月17日
一般社団法人日本善行会が行っている「秋季善行表彰」をいただきました。



授与された表彰状と善行簿

25 福島ひまわり里親プロジェクト

(9)～福島県教育委員会を通じ、小中学校700校へ「ひまわり」CD寄贈～
2012年、福井県鯖江市立持小学校当時3年生だった子どもたちが作った復興応援ソング「ひまわり」を録音したCDが福島県内の小中学校700校に配布されることになり、福島県教育委員会様へCDとプロジェクトの生い立ちやひまわりを通して生まれた物語が詰まったコミック『福島ひまわり里親プロジェクト物語～チームふくしまの軌跡～』を寄贈しました。
寄贈されたCD700枚とコミックは、福島県内すべての小中学校に配布され、道徳の教材として活用されます。

- 日付：2018年3月12日
- 場所：福島県庁
- 寄贈物：「ひまわり」CD…700枚
コミック…700冊




26 福島ひまわり里親プロジェクト

教育支援活動 (一部)

27 福島ひまわり里親プロジェクト

4. プロジェクトのこれから

広島の折り鶴のように、ひまわりを福島のシンボルに



広島の折り鶴
福島のひまわり

広島の折り鶴のように、ひまわりを復興のシンボルとして定着させ、日本だけでなく、海外からも福島の「字ひ」に訪れる町にいきます。プロジェクトを、教育旅行のきっかけにして、福島の観光の力になるとともに、それを通して、障がい者の皆さんのお仕事を応援します。


また、ひまわり記念碑を建て、このプロジェクトをサポートして頂いた全国の皆さんの名前を記し、未来の子供たちが、祖父母・父母が広げた「福島」「ひまわり」を見に来て、その名前を見て、思いやりの心を含め、この活動と震災を伝えていきたいと思っています。

欧米人観光客比率
第一位 広島県 (78.3%)

外国人に人気の日本の観光スポット
(2013)第1位 広島平和記念資料館

28 福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトは、
福島と全国の『絆』づくりとして
雇用対策として
教育対策として
観光対策として
震災の風化対策として
これまでも、これからも
復興のシンボルとして
震災と福島を伝えるきっかけにまいります。



ふくしまひまわりの里親プロジェクト

29 福島ひまわり里親プロジェクト



特定非営利活動法人 チームふくしま
<http://www.sunflower-fukushima.com>

30 福島ひまわり里親プロジェクト



私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

①音楽活動をしている若者が激減
(ROCKDAYに出演する学生バンドが近年ほぼゼロ。)

喜多方の音楽文化が衰退

②イベント(ROCKDAYや音CON)の種別が大きい

出演者への負担が増える

出演自体を見合わせるバンドが出てくる

イベントの開催自体が困難になってしまう

イベントが少なくなると、バンドの発表の場が失われて音楽人口の減少に拍車がかかる

●目指す地域の姿

大人から、中学・高校生などに至るまで、多くの人が音楽活動をしている街。

誰でも気軽にイベントを開催できる音楽に親しみのある街。
それによって賑わいと活気のある街。

「音のある街、喜多方」

地域、市民、参加者の反応や変化・成果

お客様の声

「喜多方にはこんなすごい音楽イベントがあるんだ。」
「こんなに素晴らしい音響の整ったホールがあるんだ。」
「多種多様な面白いバンド、見応えのあるバンドが沢山いるんだ。」
「なにより喜多方のみんな、心がとても温かい。」



変化・成果

- ・聴衆として音楽イベントに参加する市民が増えてきている。
- ・他市、他県からの来訪による交流が促進されてきた。
- ・喜多方のファンが増えた。
- ・賛同する企業も少しずつ増えてきた。



(ROCKDAY・インフォレット掲載の協賛企業様)

企業に向けてメッセージ

一緒に、音のある街、楽しい、活気ある街を作っていきましょう！



●設立のきっかけ

- ・ 設立は47年ほど前
- ・ 前身は勤労者音楽鑑賞会、通称「労音」
- ・ 労音の中で色々なサークルができていた。
- ・ 練習するのに、近所の人から「音がやかい。」と苦情が出て、防音が必要だった。
- ・ 発表するにしてもコンサートを開催するお金があまり無かった。

↓↓↓

喜多方音楽協議会を創立し、市の文化団体として認定を受けた。

↓↓↓

①防音が施してある市の施設を練習場所として借りることができるようになった。

②イベントを市の文化祭参加行事として行えるようになり、会場費が安くなり、補助金もいただけるようになった。

●団体の目的

- ・ 音楽を通して仲間作り、人格形成の一助となる。
- ・ 地域の文化活動に参画する。
- ・ 音楽の力で地域に賑わいを創出し、地域を活性化させる。



一大音楽イベント「ROCKDAY」



活動紹介



協働に向けて

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ・ 喜多方の、イベントや音楽を通したまちづくりに関心をもっていただきたい。
- ・ その上で、それらのイベントに協力・協賛していただきたい。
- ・ 企業様のニーズに沿ったCMソングやテーマソングを作曲して提供することもできます。
- ・ 企業様の感謝祭のようなイベントに音楽演奏による出演、音響の協力ができます。
- ・ 音楽による賑わいが創出され、地域が活性化して、若者が住みたくなる街になる。人口減少を食い止め、経済活動を維持していくことができる。

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

福島事業部門長 江藤大裕




●設立のきっかけ

- ・学校に行きにくさを抱えた子どもたちのためのフリースクールを設立 (1999年)
- ・ありのままの自分を認めてもらえる「安心できる居場所」づくりが必要との思いで取り組みを開始

●団体の目的

- ・不登校の子どもたちやひきこもりの青少年たちのために、その生き方と学習を支援するとともに、社会の創造に貢献することを目的とする。




私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

- ・不登校の子どもは、小中学生合わせて前年度比6.1%増の13万3683人 (2018年)
- ・2019年に児童虐待事件1972件
- ・育成会など地域の居場所の喪失

●目指す地域の姿

- ・子どもの育ちを支える「地域」
- ・家庭・学校・地域の「つながり」



活動紹介

「子ども食堂よしいだキッチン」
 学び・遊び・食べるを通して、笑い繋がる地域のプラットフォーム
 【日時】月1回 第三木曜日16時～19時 【場所】吉井田学習センター
 【参加人数】子ども達、ボランティア含め70名～200名

HP:  Instagram: 



協働事例

- ・郡山島田海苔店様 (焼き海苔体験ワークショップの実施)
- ・やきとり一龍様 (キッチンカーで焼き鳥の提供)
- ・伊達貨物運送(株)様 (よしいだキッチンに社員ボランティアの参加・奉仕活動)
- ・こくみん共済coop様 (夏祭りの共催・広告物作成・書ぐるみ)



協働に向けて

- 従業員研修
子ども達・地域を知る
- SDGs
2030年の福島市を共に考える



企業に向けてメッセージ

ビーンズふくしまはこれまで一貫して子ども・若者のために21年間活動してきました。企業の皆様と連携を深め子ども・若者の一歩を支えることのできる地域、たくさんの笑顔を生み出すことのできる地域を共に創っていきたくと考えています。





●設立のきっかけ
(法人設立の思い)
 障がいのある方々に、
 住むところと働くところを提供したい

↓

住むところとしてのグループホーム開設

↓

[5年経]
 満を持して、働くところである
 COLORFULを設立

●団体の目的
 基本理念＝「人間性の回復」

- 障がい者(児)、高齢者、生活困窮者等社会的弱者への、日常生活の支援に関する様々なサービス提供
- 障がいのある方々の地域生活及び自立生活の向上
- 誰もが安心して生活することができる人と環境の調和を図った、心ある社会への構築に寄与する

私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

- 障がいのある方々の
- 働く場所がない。
- 収入がない。
- 認めてもらえない。
- 個性、感性を発揮する場所がない。
- 支援者が増えない。
- 障がいの回復が進まない。
- 家族の安心も確保したい。

皆さんと解決していきたい。

●目指す地域の姿

- 芸術と文化の発信。
- 利用者さんの個性、感性を大事に、達成感・自己肯定感を育み、障がいの回復が図れる地域。
- 利用者さんの作品でも市場が開かれ、収入が得られる地域、社会。
- 障がいを、本人や家族だけの問題にしない

→地域が理解者、支援者。

活動紹介

①施設内での手作業による作品づくり

↓

利用者の体調、能力に合わせたサービス提供を心掛けています。

作品事例

ペーパークイリング 巻ベロ
 クラフトツリー
 アフセサリー・ハーバリウム

他、プリザーブドフラワー、ミニチュアBOX、会津しおりなど

②体験教室：地域住民を施設に招き、利用者と共に作品づくり
(コロナ禍前までは毎月1回開催。地域への障がい理解の啓発活動)

③作品を施設内・外で販売

地域、市民、参加者の反応や変化・成果

【利用者】引きこもりがちであったが「集う」ことで、笑顔があふれ、作品づくりを通して自己肯定感、達成感が生まれ、前向きに生活できるようになった。

【家族】利用者が社会に出ることで明るくなり、家族内でのコミュニケーションがとりやすくなった。家族感情が穏やかになり、お互いの生活が楽になった。

【地域住民】体験教室を通して、利用者と触れ合うことで障がい者への理解が進んだ。作品を買い求めに来所する地域住民も増えた。

協働に向けて

活動・組織での悩み
 困っていること

- 販路拡大～PR不足
- 創作が困難、苦手な利用者さんのための、単純作業の受注と支援。
- ステップアップしたい利用者さんへの就労の色の濃い内容のサービス提供。
- 工賃向上。

企業と協働したいこと
 サポートしてほしいこと

- 作品、商品づくりでのコラボ。
 例：プレゼント用品
 ノベルティ、記念品
 利用者さんの感性を生かした作品づくり。
- 販売と販路拡大。
 例：販売会
 作品の定期レンタル。
- 企業内での就労体験。

企業に向けてメッセージ

利用者さんの個性、感性を大事にした作品を作ることによって、達成感・自己肯定感を育み、障がいの回復につなげております。

障がい者の自立・社会参画を目指すために、雇用の拡大や作品の販売、活用などのご協力をお願いします。



私たちの思い、考え

■地域の課題

- ・ 介護人材不足
- ・ 高齢化率の上昇
- ・ 社会保障費の増加

●目指す地域の姿

60代以上の方～要介護者まで、「生きがい・やりがい」をもてる仕組みを構築することで、日常生活の中で、介護予防・重度化予防につなげ、健康寿命の延伸を目指す。



今の高齢者は、若い!

みんなの声

1人暮らしで身寄りもないのに、まだなんでもできるから介護サービスが受けられなくて困っていたから助かった。
(90代 利用者)

離れて暮らす母が心配。かゆいところに手が届くし、公的サービスとも連携しているから、介護のセカンドオピニオンですわ。
(認知症の親を持つ50代)

少し障がいがあるかな?という方も立派に働き手に。また、次回もお願いしたい。
(ケアマネジャー)

定年後に資格は取ったけど働けていなかった。これなら得意なことを仕事にできるので安心。
(60代 認定コンシェルジュ)

市町村圏域を越えた支援方法がなかったので、助かった。
(病院社会福祉士)

企業に向けてメッセージ

日本は、世界一の高齢社会です。2025年には日本の人口の1/3が高齢者(65歳)となります。弊社の、登録者の半数以上は医療福祉の有資格者です。企業様と協働することにより、様々な高齢化対策ができ、それは必ず、一人ひとりが楽しみや生きがいを持ち、「最期まで輝く」助けになることができると考えております。ご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。



●設立のきっかけ

ケアマネ時代に、「好きなことができないなら死んだほうがましなんだ」という高齢者の方に多数お会いしたことです。介護保険などの公的サービスでは、生きるために使用できますが、好きなことには使用できないのです。公的サービスの補完的役割が必要だと思い、創業致しました。



●団体の目的

アクティブシニアや子育て中の女性等の活動性や意欲を活かすことで、介護人材不足を解消できるだけでなく、社会保障費を抑制することにも繋がります。支援が必要な方も、サービスを提供する方も双方の生きがいややりがいを重視し、人生を最後まで輝いたものとするを目的としています。



活動紹介

介護マッチングシステム



サービス事例

- 1●介護認定前でも、場所を問わない排泄や入浴介助、調理等 ●お墓参りでの介助
- 新型コロナウイルスにより会う機会が減ったご家族や友人とのオンライン通話サポート
- 2○企業への介護離職防止セミナー、社内の介護離職防止コーディネーター育成

協働に向けて

活動・組織での悩み困っていること

- ① 広報力不足
東北初のサービスであり、一般の方に馴染みがない。一般の方へ向けた十分な広報がされていない。
- ② 情報発信力の不足
事務局の人員不足や知識情報の不足によりWEBやSNSによる発信に効果が見られない。

企業と協働したいことサポートしてほしいこと

- ① 高齢化に対応できるサービスの協働開発
例: 緊急通報装置との連携により新サービスの開発・企業の福利厚生としての介護サービスの利用
- ② 広報協力
企業の営業ネットワークやイベント等にて告知などの広報の協力願いたい。
- ③ 経営者人事担当者向け介護離職防止セミナー
企業のセミナー等で介護離職予防や介護保険等の説明を通し、情報を発信したい。

特定非営利活動法人ピーターパンネットワーク

穴沢 明美

●設立のきっかけ

「企業に障がい者と健常者が共に働く場所を作りたい」とそんな思いが前身作業所ピーターパン所長穴沢明美の願いでした。その願いは1993年に3人の若者が青春と情熱をかけ多くの支援者の手で現実のものとなりました。作業所ピーターパンが生まれたのは1993年4月1日。会社若松市住吉町で産声をあげました。当初の利用者さんは2名で農家さんから畑を借りトマトを育て売っていました。同年10月には志願のパン屋さんがオープンし利用者さんの数は6名に増え、いろいろな方のいろいろな思いが詰まった作業所がスタートしました。

●団体の目的

法人理念:
私たちは、障がい(児)者の『わが国』に貢献したい。あらゆる機会・手段をもって、その実現に全力で取り組みます

法人目的:
I. 「わが国」を支える社会づくりをします。
II. 「わが国」の発展を支える人材を育成します。
III. 「わが国」を実現する場をつくります。
IV. 「わが国」発展の基礎である所得増進をします。
V. 「わが国」に伝えるためあらゆる人へ、施設と連携をします。

障がい者も認めてほしい
障がい者でもできるたくさんあります。

私たちの思い、考え

▶地域の課題
障がい者が地域の中で生き生きと安心して暮らせるまちづくり

目指す地域の姿
・親亡き後も、安心して暮らせる基盤づくり。
・金銭面の自立

平均工資

年度	ピーターパン平均	福島県平均
H21	10,290	14,700
H22	19,880	14,700
H23	23,840	14,700
H24	19,840	14,700
H25	31,254	14,700
H26	20,840	14,700
H27	13,570	14,700
H28	14,200	14,700
H29	14,430	14,700
H30	18,603	14,700
H31	14,700	14,700

ピーターパンの思い
利用者の方々にたくさんのお給料を渡してあげたい

活動紹介

くつろぎ宿泊事業
自営専ら産後の経験「くつろぎ宿」からお仕事をしたい女性、障害・福祉施設に働きかけ、バリアフリーの環境を整え、障がい者も活躍できる環境を整えています。

発泡剤サイクル
発泡剤の回収・リサイクル。廃棄物の削減と資源の再利用。作業の効率化と安全。環境に優しい取り組みです。

バイオディーゼル燃料製造
自家製の大豆油を原料として、バイオディーゼル燃料を製造。環境に優しい取り組みです。

クッキー
自家製のクッキーを製造。障がい者も活躍できる環境を整えています。

ウェンディのお弁当屋さん
障がい者も活躍できる環境を整えています。

パン工場 ウェンディ
自家製のパンを製造。障がい者も活躍できる環境を整えています。

ケース1 株式会社くつろぎ様との取り組み(施設外就労)

施設外就労:事業所と企業が契約を結び障がい者が働く仕組み
支援者が必ずサポートにつきます

くつろぎ宿
利用者さんへ「働く環境」の提供。

バイオ燃料の原材料としてリサイクル
BDF班 厨房で使用した廃油の回収。

弁当班
社員のお弁当の注文や調理や廃棄物からつながらる注文。

くつろぎ宿のメリット
・人材不足の解消
・人件費の削減(雇用契約ではないため)

ケース2 新田商店様との取り組み

新田商店
新しく「納豆とろろ蕎麦」の商品を商品化したいが商品の営業許可が困難

ピーターパン
「仕出し・弁当」の営業許可を取得している

製造の委託
企業側のメリット
・新たに営業許可を取らずに、商品の販売ができる。
・ピーターパンのお店での店頭販売やピーターパンと取引のあるお客様へのアプローチ。
・福祉施設との連携で社会的なイメージアップ

ピーターパンのメリット
・利用者さんの仕事の確保(売上アップ)
・新聞を見た方などがお店に足を運んでくれた。(ピーターパンの商品の購入に繋がった)
・安価で仕入れることができた。

WinWinの関係

障がい者の就労事情

令和元年7月～
就労移行支援事業スタート
・生活能力の向上を支え、その上就職に向けた支援を行います。
・数地区にアンテナショップを併設しており、サービス業を希望の方には実習の場が用意されています。

多くの利用者さんは一般企業への就労を希望していますが、就職は厳しい状況です。

- 是非、障がい者に働く機会をおえてください。
- 障がい者の人間性を見てください。
- できないところではなく、得意とするところを探してあげてください。

一般企業が考える障がい者雇用取り組みの本音をお聞かせください!

協同へ向けて、企業へのメッセージ

今後、さらなる工資upを目指すために、各店の売上を伸ばしたい

～企業と協働したいこと～
企業・福祉施設のどちらにもメリットがある取り組みをしていきたい

相場より安価でオリジナルのお菓子が作れます。販促品やPRにご活用ください!!

この売上が利用者の工資アップに繋がります!!

是非よろしくお願いたします!

[特定非営利活動法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ]



**特定非営利活動法人
福島ユナイテッド
スポーツクラブ**

団体案内

スタッフ 柳原 圭

繋がリタオす
Link

何をしたいの？

- 子ども達の運動機会・体験活動の減少(高齢化・震災)
- 地域にぎわいの減少
- 地域コミュニティの弱体化



- 子どもたちへの豊富な活動機会のある社会
- 出身地等だけではなく、新しい時代のコミュニティの創出
- 地域での循環型社会の実現


★震災・新型コロナウイルスによる更なる困難


事業内容② (連携団体との協働含む)

<震災復興事業>

- ・スポーツを通じた子どもの交流事業
- ・高齢者体操教室交流事業
- ・プロスポーツ観戦交流事業

※福島県県内避難者・帰還者心の復興事業





私たちの目標…


より多くの街の人達に「あって良かった」と思われるクラブ



ご提案

これまでの企業様との協働経験 (連携団体との協働含む)

- ・社内共有の話題作りとして利用 (社内広報メルマガでクラブ情報共有～リーグ団体観戦)
- ・子ども向けサッカー教室参加賞に缶バッジを配布し、家族向けPR
- ・子ども向けサッカー教室へ新人社員を参加させ、地域交流の研修として利用





私たちは…

私たちはリーグ所属のサッカークラブ、
『福島ユナイテッドFC』と連携したNPO法人です。

- ・スポーツを通じた子どもの健全育成
- ・スポーツを通じた豊かな地域社会の構築を目指しています！

定款及び
この法人は、福島県内の若年層にサッカーを中心としたスポーツを通じた子どもたちの健全な心身の発達や生活スポーツ社会の実現、競技力の向上を目的とし、スポーツを通じた豊かな地域社会の構築に資することを目的とする。

事業内容① (連携団体との協働含む)

<地域活性化・子どもの健全育成事業>

- ・サッカースクール
- ・夏休みキャンプ
- ・リーグ前座サッカー教室
- ・大人のフットサル教室




その他やっていること (連携団体との協働含む)

- ・幼稚園・保育園巡回スポーツ指導(年間約200回)
- ・サッカー大会・フェスティバル開催運営(ユナイテッドカップ・OVALCUP)
- ・講演会(職業人に聞く会・夢先生等)
- ・リーグの試合を利用した発表会等
- ・イベント開催・ブース出展等、普及活動




皆様へのお願い

企業様と協働したいこと・サポートしてほしいこと

- ① 団体スポンサード
- ② 備品作成の援助 (ステッカーや会場装飾)
- ③ 参加賞のご提供(サッカー教室等)
- ④ 当団体の利用





企業様へのメッセージ

私たちと一緒に、より良い『福島』をつくりましょう！
まずは名刺交換から、お願いします！



NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会
輪 楽 創
(わらっく)
理事長 高橋 徹

私たちの思い、考え

▲地域での問題


- 障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の意識が高いとは言えない。
- 就労支援事業所から、他の就労支援サービスや一般就労へ移行していく際に就労できる「場」についての情報不足。
- 地域内での関係機関による連携が不十分。

●目指す地域の姿

- 障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の創造。
- 障がい者の就労へ向けて、情報を集約できる場の充実。
- 障がい者支援の関係機関連携の推進。

地域、市民、参加者の反応や変化・成果

- 利用者からは・・・「輪楽創はとても楽しい」
- 保護者からは・・・「障がい者の居場所ができてよかった」
- 福祉関係者からは・・・「輪楽創は家族的で紹介したくなる」
- 地域住民からは・・・輪楽創祭りや地域での販売会、食堂での交流、便りを通じて「障がい者と交流できる場ができてうれしい」「障がいに関する地域の情報を知り、応援したくなる」




企業に向けてメッセージ

- 「共に生きる社会」を共に創っていきましょう。
- 障がい者の就労に向けて合理的配慮を共に研修していきましょう。
- 障がい者自立支援協議会等、地域の福祉関連機関と共に連携していきましょう。




●設立のきっかけ

○障がい者が利用できる就労支援の事業所が町には1か所しかなく、そのうえ利用者がいっぱい。

○親の会会員の障がいのあるお子さんたちは、隣の伊達市の施設利用がほとんどであった。親の高齢化に伴い送迎が大変だ。

↓

桑折町手をつなぐ親の会の願い
「桑折町に新たな事業所を作りたい」



●団体の目的

障がいの有無にかかわらず安心して楽しく生活できる共生社会の実現に取り組み

- ① 就労継続支援B型事業所「輪楽創」の経営による障がい者の自立の支援。
- ② 障がい者、保護者、地域住民に対する相談活動による就労や生活の支援。
- ③ 食堂を運営した障がい者と地域住民の交流、各種イベント、広報活動等による共生社会の創出。



活動紹介

輪楽創の作業(仕事ありきではない)

- ・多くの作業の中から利用者が自分の夢や希望に沿って作業を選ぶ。
- ・利用者が自分の意志で作業を決定し、自尊心を高めていく。

- ① 農作業 食堂での食材(6次化) 農産物の販売 農産物連携(人で不足の「農」と仕事不足の「福」の連携)
- ② 食堂での調理
- ③ 織物
- ④ DM使
- ⑤ 企業からの下請け(フルーツキャップ折り、箱折り)



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- 農作業を中心に作業をしているが、あまり高い収入は望めない。
- コロナの影響もあり、企業からの下請けの作業がなくなったり減ったりしている。
- 地域住民との交流も目的の一つにした食堂経営であるが、コロナの影響で来客者が減っている。
- 精神障がい者の相談・通所も増えているが、その支援方法が難しい。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ▶ 農産物連携の充実を図り、農業関連をはじめとした機関や企業からの指導助言
- ▶ 障がい者ができる作業を共に研究し開発
- ▶ 食堂以外の地域住民との新たな交流についてノウハウの共有
- ▶ 障がい者雇用(特に精神障がい者の雇用)の社会における企業や事業所の役割について共に研究

**特定非営利活動法人
ヒューマン・ネットワークふくしま**

理事長 菅野 淳一

◇具体的な活動の紹介

①他と異なるイベント開催

定例「ふくしまの歴史と文化に触れる会」他



♪ 日本酒とショパンの夕べ ♪

◇今後実施したい活動のポイント

需要 **ギャップ** 供給
 高齢者 ← **埋める** → 介護サービス
 消費者 ← **埋める** → 店舗サービス
NPOの役割

こんなお話をいたします (ほぼ何でもOKです)

- 昔の思い出話
生まれた場所や昔の思い出…村の神社・祭り・寺・伝説・学校
ご先祖のお話し…出身地・先祖の出自・寺の宗派・家紋
やってきたお仕事
- 歴史や人物のお話し
歴史上の人物 (戦国武将・江戸時代の藩主・世界の人物)
寺社仏閣・城・戦場など
- 趣味のお話し
小説・音楽・旅・絵画
- 日本の文化のお話し
陶器・漆器・織物・工芸品・建築物など
- 世相
政治・経済・社会・スポーツなど

◇設立の趣旨・理念 平成18年設立

「できないでいる」ものをサポートし実現しよう
人のネットワークを利用し達成しよう
大きな活動より、小さな活動の積み重ねを…

◇団体紹介

収益を求めない団体 (活動自体が個人の利益)
主な活動
地域の小さな歴史や文化を
掘り起こし紹介している

②観光地として知られていない場所を案内する観光ガイド



醸造元巡り!
ワイン・味噌・ウイスキー・酒



日本文化を深掘り!
禅・修験・山城・神

③シニア向けお話し相手サービス

「デイサービス」に行きたくないお父さん
街に出ても行く場所がないお父さん
知らない福島の話を知りたいおば様グループ
買い物に行っている間、親の相手をしてもらいたい娘

介護サービス外サービスとして**拡大したい**

ケアマネ・介護事業所などサポートをお願いしたい

④商品拡大をサポート=消費者の買い物サポート

商店 ・需要がどこにあるか分からない
・在庫や製造口は避けたい

ギャップを埋める

消費者 ・どこで売っているか分からない
・取りにいかなければ
・配達してくれる業者は売っていない

**数多くの人ネットワークを活用できるNPO
ぜひご相談を…**

地域、参加者の反応や変化・成果

台風19号被災者支援
 中平産科婦院での出来事
 支援物資の配給の時

70歳ぐらゐの男性が、中学生から
 着せ替えをしてもらい涙を流して
 ジャケットを持って帰った

子供達の意識向上
 表現力は、コミュニケーション力を作る
 ボランティア出来る子供達が育った
 教育を受けている事で大きな成果




災害ボランティア
 1995年阪神・淡路大震災の時に参加したボランティア200万人
 2004新潟中越地震 10万人
 2011東日本大震災 550万人
 台風19号は、いわき市で延1万人
 いわきの現状を多いと見るのか？……

●お互い様の心
 お隣同士、お互い様の心で助け合える社会が望ましい
 いざとなったら、助け合う地域づくり

●ボランティア育成は心を育てる
 中学生にしか出来ないボランティアがある！
 ボランティアは、優しい心を育てる事！

- 子供達が楽しめた
- 子供達に合う事で生きがいを感じる
- 子供達にボランティア心が生まれる
- 空き家で引きこもりがなくなった
- 運動する機会を提供する事でコミュニティーが出来た

私たちができる事(協働に向けて)

私たちは専門のノウハウはあります
 子供たちのボランティア教育、それも心を癒る教育を兼ねて行う事ができます。優しい心を育てられます。

芸術で街を彩り(いろどり)、活性化できる企画力と実行力を持っています

災害が起きた時、行政に頼るのではなく、民間の力で、即効性と継続性を行えるつながりを作れます。

ここが苦手
 人手やアイデアや資金不足！
 イベントの運営の人手
 運営費・活動資金不足
 練習場所の提供
 ワークショップを行う場所
 こんな技術者募集

演劇・教養・サバイバル講師・経済学・学芸・環境や防災について・曲について……

企業に向けてメッセージ

誰かがやらなきゃいけない事！(今やる直ぐやるハッとやる)
 身近なところにある「幸せの行動」
 災害復興や子どもを育む地域づくり
 SDGsは、何をを使い何で行うかが大切！

私たちは、芸術文化、ダンス、人間と人間がつながる絆で、SDGsを行います
 ぜひ、皆様のお力をお貸しください。共に手を繋ぎ、地域に貢献しましょう




Non Profit Organization
Dance Expo

すくのび広場運営

すくのびくらぶ



特定非営利活動法人
いわき緊急サポートセンター内 広場運営部門
すくのびくらぶ 代表: 前澤 由美

すくのびくらぶ

H23.09 震災後に避難所だった場所に設置された遊び場(広場)の運営協力

H26.09 イトーヨーカドー平店や住民から子育ての専門性の向上など要望があり、「すくのびくらぶ」を結成

H27.01 店舗4階の60坪の特設会場に「すくのび広場」を設置

H28.01 日本NPOセンター×JTから助成 保育士勉強会(実務養成)を開始

H28.06 復興庁「心の復興」事業に採択 専門性ある講師を派遣

「すくのびくらぶ」の目的

- 子育てに関する情報の共有
- 子育てをはじめとした地域貢献者の育成
- 子育て家庭の心と体の健康、健全な成長・発育発達
- 地域で子どもを育て、親子と支援者が共に成長していく環境づくり。
- 地域団体・企業・公的機関・福祉施設による協力・連携体制

★毎年助成金を獲得。広場運営の財源としている。

私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

- 震災への恐怖心や不安感に加えて台風水害やコロナ禍など多重災害でストレスの長期化
- 情報の氾濫と公的機関への不信任
- 孤立、ひきこもり、生活苦、二次的障がい
- 支援情報を得る機会や自分の存在を実感できる居場所がない。
- 子どもを安心して遊ばせる場所や気軽に相談できる場所がない。
- 緊急時の子どもの預け先がない。(緊急時=遠征時や休講日など)

●目指す地域の姿

- 住民たちが支え合い、認め合い、笑顔で安心して暮らせる地域
- 正確で安心できる情報が得られる多世代交流の場がある地域
- 気軽に相談できたり、専門的な学びを得られる地域(生涯学習)
- 自分らしく、生きがいを持って、笑顔で暮らせる地域

NPOの特性を生かして、実現を目指しています。

すくのびくらぶ 活動紹介

- 「すくのび広場」の運営 10:00~17:00
- 月1回 広場カレンダー1,500部を発行
- ホームページ掲載
- 専門家による随時 子育て相談 (看護師・助産師・保育士・管理栄養士・歯科衛生士・体操指導士・ヨガ講師他)
- ママサロン、健康体操、ヨガの開催
- いわき市子育てコンシェルジュ定期巡回



・発達障がい児や病児、待機児童を含む保育を支援する場の提供。

・おとな・子どもの運動不足の解消。

・地域からボランティアを歓迎 潜在能力の開花、生きがいや楽しみを実感

・学生インターンシップの受け入れと学校の協力・連携。



すくのびくらぶ 活動の様子





















地域、市民、参加者の反応や変化・成果

利用者の声

- 育児に疲れた時、子どもを遊ばせたい時、いつでも笑顔で迎え入れてくれるので助かります。スタッフさんに感謝です。
- 助産師さんや栄養士さん、歯科衛生士さんまでの広場は他にはないし、心強いです。
- 祖父母に子どもを預けて不安でしたが、この広場で遊ばせてくれるので安心です。
- すくのびのイベントで家族の外出の計画を立てています。もう生活の一部になっています。

インターン生の感想

- 短い時間に多くのことを経験でき、将来の進路を決めることができました。
- 普通のアルバイトではなかなか経験できない貴重な人との関わりを学べて、良かったです。
- 自分に自信がなかったのですが、徐々にできることが増えて、この広場やみなさんに感謝です。


イトーヨーカドー平店から

- 子育ての知識や高齢者への健康などに対する専門性があるので安心です。
- 地域の方々から好評なので、当方も場を無償提供している甲斐があり、地域貢献できています。

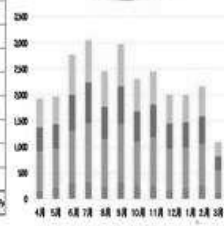
令和元年年度すくのび広場月別利用者数

月	保護者		子ども		合計	総数	備考 (広場休業日)
	男性	女性	男児	女児			
4月	164	747	467	550	1,928	762	1日、27日~30日
5月	224	738	478	528	1,968	780	1日、2日、7日
6月	328	989	888	763	2,768	1,068	1日のみ
7月	333	1,123	767	804	3,047	1,095	1日のみ
8月	246	902	929	674	2,451	894	8日~16日、20日
9月	339	1,094	734	805	2,972	1,136	1日のみ
10月	255	846	585	618	2,304	961	7日
11月	254	930	630	630	2,447	980	6日
12月	187	775	493	554	2,009	743	21日、26日~31日
1月	217	763	496	524	2,000	748	1日~7日
2月	271	782	537	576	2,166	830	3日
3月	128	413	277	279	1,097	423	2日
合計	2,946	10,105	6,799	7,305	27,155	10,418	合計2993箇所のみ

性別別利用者数



月別利用者数



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- ・資金調達(助成金の獲得・寄付)
- ・人材不足のため人材育成を継続したい。
- ・これまでの専門職ネットワークを維持して地域に生かすために、協働事業をしたい。
- ・制度や公的機関との協働事業へつなげ、持続可能な活動・地域のよりどころにしていきたい。



企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ・地域の心の居場所となる環境、人づくりできる場を、一緒に作り上げてほしい。
- ・多世代交流・人とのつながりを創出し、次世代活性のために事業をともに推進してほしい。
- ・子ども・障がい児・高齢者など、社会的弱者のよりどころとなり、生きがいや笑顔の生活を応援してほしい。



協働することのメリット

- ・住民市民から、NPOや社会への理解が深まり、家庭力の向上および地域の生活の場に対する意識の変容。
- ・孤立や二次的障がいを防ぎ、親子の発育発達を促進できる。
- ・多世代からの企業の本来の目指す姿(イメージアップ)を図ることができる。十分に生かされていない空間を利用し、地域住民の学べる場ができる。
- ・教育の社会的責任を果たすことと生涯学習・教育推進事業の推進。
- ・協力・連携のネットワークを構築し、人づくり・地域づくりの創出の可能性。



※協働(パートナーシップ)とは

- ・共通する課題や目標に対して、その解決や達成のために、協力し合うこと
- ・目的を達成するために、それぞれが単独で活動するよりも経済的・労力的・時間的・場所的・手段的・内容的など色々な観点で、より上手いときになされるもの。

と、私たちは考えます。

企業連携・官民協働に向けたメッセージ

- ・どのような不安な社会になっても、いわき市で安心できる暮らしを確認できる場所・より正確な情報収集できる機会、気軽に相談できて、必要な場合すぐに専門家につながられる仕組み……企業連携・官民協働事業が望まれています。
- ・東日本台風(台風19号)による水害(超過洪水)に次ぎ、コロナウイルス到来で社会不安が長期化し、地域活動が停止し、引きこもり傾向になっています。明るく楽しい広場の提供と地域のよりどころ(いきいきと暮らす場と多世代が交流しつながりを創出すること)は、経済活動の面でも相乗効果につながります。



- ・当団体のノウハウの提供や柔軟で先駆的な活動で、地域からの期待に応えるべく協働事業・教育推進(生涯学習推進)をめざしています。
- ・これまでの実績・存在価値を生かして、不安の払しょく・社会参加・経済活性の機会提供を考えています。



ご清聴ありがとうございました。



 <p>令和2年度 ふくしま地域活動団体サポートセンター NPOと企業等のマッチング事業</p> <p>NPOと企業の マッチング事業</p> <p>特定非営利活動法人 ままは一と 理事長 室岡 真紀</p>	 <p>重症心身障がい児ってなあに？</p> <p>重症の肢体不自由と 重度の知的障害とが 重複した状態の子どもたちを 重症心身障がい児（者）といいます。</p> <p>ほとんどの重度である為 自分ではおこなうことができず、自力での移動・食事・ 排泄等日常生活において 誰かの支援なしでは生きられません。</p> <p>また、人工呼吸器等医療的ケア等も必要な 障害児（者）は 呼吸器を使用することも、栄養を摂ることも 困難な障がい状態にあり 常に文字的な言語上に障がいなければならず 医療と深いつながりを持って生活しています。</p>
 <p>ヘルプではなく サポートを</p> <p>障がいや医療的ケアがあることで 制限や拒否をされ続ける 福祉や教育の現状・・・。</p> <p>どうか この小さな叫びを切り捨てないでほしい。</p> <p>制度や仕組みも大切だけど 当事者の声を一番大切に 「支援」ではなく 「子育て」の応援を！</p> <p>声なき声を取りこぼさない活動を 企業の皆さまと共に 考えていきたい。</p>	<p>平成29年6月 特定非営利活動法人 ままは一と 設立</p>  <p>重心児の笑顔と地域を繋ぐ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根差した活動を通して障害福祉の発展に貢献する。 2. ままは一と＝お母さんのような、温かく居心地の良いサービス。 3. 障がい児が、住み慣れた地域の中で、安心して自分らしくイキイキと生活できる場所を創っていく。
 <p>ご利用者さま在籍数</p> <p>【どりーむす】 児童発達支援＆放課後等デイサービス ・児童発達支援：9名（医療的ケア6名） ・放課後等デイサービス：8名（医療的ケア1名）</p> <p>【かむ】 放課後等デイサービス＆生活介護 ・放課後等デイサービス：7名（医療的ケア5名） ・生活介護：1名（医療的ケア1名）</p>	<p>まずは知ってもらおうこと</p>  <p>昨年は、台風19号による水害で大きな被害を受けました。 市内・県内だけでなく、全国からたくさんの方の支援を いただきましたが まだまだ私たちは、目ざろから地域の中に受け込んだ 生活をしていなかったと、考えさせられることも たくさんありました。 その一つとして、避難所の課題があります。</p> <p>障がいのある子ども達と 子ども達を支える家族・きょうだい達の生活を 地域の方に知っていただくこと。</p> <p>地域の課題の一つとして 福祉避難所について 一緒に考えていただきたい。</p>
  <p>重心児の子ども達は、スペースの確保や、電源の確保、衛生の確保が必須です。</p> <p>それを、被災当日に、避難所運営の方や、他の住民の皆さまに説明するしんどさ。 これだけ電源をたくさん使います、とか、褥瘡防止でマットが必要ですが、とか おむつ交換時に目隠しにできるものはあるか？臭いで嫌な思いをさせないか・・・ 気を使いすぎ、お互いに嫌な思いをするなら、自分たちで頑張ろうと思ってしまおう。</p>	 <p>繋がりが力を添えて 誰も取りこぼさない 全ての人へ優しい仕切りを！</p> <p>物を備えるのも大事なことで、 でも、もっともっと大切なのは、人との繋がり、地域との繋がりを。 盲段できていないことは、災害時にはもってできません。 被災時に安心して行ける場所を 地域の皆さま・企業の皆さまと創りたいと願っています。</p> 
<p>ご清聴ありがとうございました。</p>  <p>特定非営利活動法人 ままは一と</p>	

特定非営利活動法人共創のまちサポート

理事長 増子裕昭





共創のまちサポート

● 設立のきっかけ

地域には解決すべき課題が多く存在しているのに、解決されないうままである現状をなんとか改善しようと立上げる。

● 団体の目的

様々な地域課題の解決に向け民間の立場から積極的に事業を幅広く展開し、住みよいまちづくりに貢献していくこと。



共創のまちサポート

まずはコミュニティ食堂の実施！

■ 地域の課題

1. コミュニティの希薄化
2. 独居高齢者の増加（孤食）
3. 朝食を摂らない子どもの増加
4. 貧困世帯の増加
5. 震災避難者との交流がない
6. 防災の必要性
7. 学力の低下

➔

● 目指す姿

1. 地域交流の拠点（多世代交流）
2. バランスのとれた食事の提供
3. 子どもの体力づくり
4. 子どもや高齢者の居場所づくり
5. 震災避難者との交流
6. 防災教育
7. 学習支援

共創のまちサポート

朝食とランチを提供します

1. 私たちは、毎週火曜日と水曜日に「朝食」を提供しています。
場所：平第14区公民館／時間：6:30～8:30
2. 毎月の第3土曜日と第4土曜日に「ランチ」を提供しています。
場所：平第14区公民館（第3土）好間公民館（第4土） 時間：11:00～13:00
3. すべて、子ども50円（高校生100円）、大人300円です。




共創のまちサポート

地域、住民、ボランティアなど参加者の反応や変化

1. 最初は経済的に苦しい人に向けた貧困対策と思われ、周囲の目もあり、あんなところへ行ったら笑われる」と様子見の状態が続いた。
2. それでも継続的にやり続けていくうちに誤解もとけ、次第に人が集まってくるようになり、地域全体の理解も深まり協力的になった。
3. ボランティアも多くの申し出があり、野菜などの食材を提供していただくことも多くなった。




共創のまちサポート

協働に向けて

活動・組織での悩み困っていること

1. いわき市の補助が最長3年間で打ち切られること。
2. 市内で更に複数の場所で食堂事業を展開したい。
3. フリースクール等の学習支援と併せて活動をしたい。

企業と協働したいことサポートしてほしいこと

1. 食材など現物物資の提供
2. 接客や配膳、洗いもの等を行う人材・ボランティアの派遣
3. 宿題や英語等の学習支援事業とのタイアップ
4. チラシ・パンフ等への広告協賛
5. 事業拡大へ向けた資金の提供等

共創のまちサポート

企業の皆様に向けてメッセージ

子どもの健全育成や高齢者の居場所づくり、コミュニティの活性化等、地域課題は、私たちだけではなく企業及び従業員の皆様にとっても解決すべき問題であり、積極的に取り組んでいく必要があると考えっております。

また、企業のCSR（企業の社会的責任）活動、SDGs（国連で定めた持続可能な開発目標）等の指標、目標がありますが、これらに沿った形で協力していただくことにより企業の社会的評価も高まってまいります。




共創のまちサポート



理事長 大川 幸子

「NPO法人いわきFP・e-らいふ」の3つの想い - elegant・enjoy・easy

いい人生のためのアドバイスと プランニングができるNPO

美しい暮らし方 (elegant)、人生を楽しむため (enjoy)、美味しく健康に
食べる (easy) ための「家計経済」をすべての人わかりやすく提案したい。

活動紹介



いわき音楽会(児童福祉施設)
「生活設計相談事業」

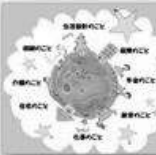
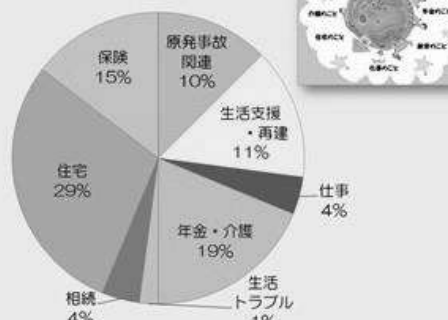


生きがい探し
キャンデイTrain Go!



新そば打ち
関田「おそばでGo!」

相談内容



参加者の変化 (スタッフの感想)

- 相談の相談なされた方 (一人住まい、兄弟有) が相談制度を分かり易くお話す事で安心した笑顔が印象的でした。
- 1人住まいの方、年齢と共に医療・介護をとて心配しておられます。医療・介護サービスの申請場所等申請の流れを分かる事で安心なされます。
- 今まではご自分の仕事家の事・野菜づくり等が有りましたが、災害公営住宅で何もすることがないのが寂しい、その方いわきのサークルを紹介、今では意欲的なお面を作成して、私共竹園工の花入れをいただきました。
- 東日本国際大学の「3級FP講座」受講生が、希望した会社・銀行・公務員でしっかりお仕事している姿が嬉しいです。
- 児童福祉施設の生徒たちが、進学を真剣に考えて自分の夢を持ち始めています。
- 小学生への活動「夢を仕事につなげよう」体験型お金の学習会、子供達がグループで「おらし寿司」調理、生き生きと楽しく、美味しく、面白いおらし寿司が出来上がるのがとても楽しい時間でした。



「NPO法人いわきFP・e-らいふ」とは?

青少年等に健全な自己責任の取れる
社会人育成のための金銭教育
地域住民に対して金銭教育、生活設計相談会
の開催、社会保障制度の啓蒙活動

安心・楽しい・豊かな生活の推進

2005年9月27日に設立

- 人材育成事業
 - 高齢者の自立支援、生きがい作り。
 - 3級FPファイナンシャル・プランナー) 資格取得講座。
- 生活設計相談事業
 - シングル・子育て世代の「家計の見直し」(保障・教育費・金融商品・住宅ローン等)
 - 退職後のライフプラン。
 - 社会保険制度の啓蒙 (新入社員等)
- 青少年の金銭教育
 - 小学生対象「体験型お金の学習塾」
 - 中学生・高校生向け「夢を仕事につなげよう」



活動紹介

震災復興ライフプラン相談会

～相談者の現状の把握と今後の道筋(ライフプラン)をFPと共に考えるための相談会～

お金に関する無料相談および相談会を仮設住宅で開始～現在は災害公営住宅で開催している。

- ミニセミナーで話題提供
- 相談会で皆様から話を引き出す
- 話を聞いて、信頼関係を築いてから、個人相談

従来からNPOへの支援を積極的に行う「ゆうちょ財団」の協力により、東日本大震災後8年間に渡り実施。信頼関係を築くために同じ団地で繰り返し行うようにしている。



相談者の悩み

- いわき市で家を建てたいが土地の値段や建築費が高騰していて、手が出せない。
- 災害復興住宅に落ち着いたが、子ども達と一緒に暮らせず、このごろは会う機会が減った。
- 賠償金が入った為、自分が亡くなったなら、相続税が発生しそうで不安です。
- 災害公営住宅(いわき市の地震・津波被災者)に住んでいるが、入居から3年後は収入によっては入居費が高くなり、住宅取得を考えている。
- 生活は安定して、楽しくしているが、以前のように畑仕事ができないことが残念。
- 今は復興公営住宅に一人でも元気がよいが、介護が必要になった時が心配です。



参加者の声

- 「マネーかるた」がとても楽しく、皆さんと触れ合えて良かった。
- 色んな支援も落ち着いたが、協力してくれる支援はありがたい。



企業の皆さんへ

企業の皆さんへのご提案

コロナ禍により、これからのライフプランを見直す人が増えています。ライフプランに関する相談会を、一緒に企画していませんか?

現在困っていること

私たちは広報が苦手です。現在の活動を広く展開していくために、広報のノウハウや表現方法について、お知恵を貸してください。

私たちの力が社会に役立つように是非ご協力ください!

(5) マッチング会後のアフターフォロー

マッチング会の終了後、参加 NPO や企業にマッチング会の感想についてヒアリングを行った。

- 実施期間：令和 2 年 1 2 月 2 5 日 (金)～
- 実施方法：電話、メール、訪問
- ヒアリングの内容

〈NPO〉

- ・ 企業との個別面談が良かったのでその時間を増やした方が良い。
- ・ 様々な企業と出会い良いキッカケをもらったので今後もマッチング会があれば参加したい。
- ・ コロナの状況もあるので積極的に訪問するのは難しいところですが、現在、企業にアプローチ中です。
- ・ 現在、活動がシーズンオフなので、再開したら企業にアプローチしていく予定。
- ・ 現在のところ企業とのマッチングは無い。まずは自団体のサポーターを増やしたい。
- ・ 当団体の通信を企業に向けて案内することをご了承頂いた。
- ・ 今後、中心商店街活性化のために協働していくことも検討している。ただし、こちらはマンパワーが不足しているのでさらに行政や大学などを巻き込んだ連携を模索してみたい。
- ・ 様々な企業との話しや他の NPO の活動内容はとても参考になった。
- ・ 今回は具体的に企業とのマッチングは無かったが、今後の活動の参考になった。目の前の出来事に注目せず、なぜこの出来事が起きたのか？その背景や経緯を知ることが次代を考えることにつながる。今後は社員教育のお手伝いもしていきたい。企業とのつながりをもっとつくっていききたい。

〈企業〉

- ・ 参加した NPO の活動内容を理解できた。今後の放送を含め協働していくきっかけになった。
- ・ NPO との交流は初めてだったがまた参加したい。

- ・ NPO は使命感を持って活動しており素直な思いが伝わってきた。
- ・ 当日、個別面談があると知っていれば準備ができた。
- ・ 参加してみて視野が広がりとても勉強になった。
- ・ 気になる NPO2~3 団体とマッチングしていきたいと考えている。活動を応援したいと考えているが残念ながら現在コロナの状況で訪問できない。
- ・ 自社のお客様ともマッチングさせてみたいと考えている。
- ・ NPO のマッチングサイトのようなものがあれば、マッチング当日は時間も限られるし事前にどんな活動をしているのか知ることができる。
- ・ NPO だけのプレゼンだと一方的なので企業側も PR のためのテーブルがあると良いのではないか。
- ・ 一般の企業とまた違ったコラボレーションができるし、情報交換をして価値観が合えば一緒にできそうなのでこのような場は必要。
- ・ 既知の NPO 代表ともさらに親交を深めることができた。
- ・ 初めての参加でしたが、NPO との協働マッチングということは今まで考えたことがありませんでした。なんとなく理解できたと思います。
- ・ win-win の形でマッチングするところがあれば面白い事業だと思います。
- ・ NPO の皆さまの活動内容をなど貴重なお話を聞くことができた。これをキッカケに協働していける点を探りたい。

4. マッチング事業の成果

令和2年12月に実施した「NPOと企業との協働マッチング会」の後の参加NPOと参加企業との協働に関する成果または令和3年3月現在の進行状況は以下のとおり。

(団体名・企業名等 敬称略)

報告(1) NPOと企業の双方の特徴を生かした商品開発と販売

■NPO／特定非営利活動法人 チームふくしま (福島市)

■企業／株式会社 布分 (会津若松市)

①協働事業の内容

会津地方の民芸品である「赤べこ」や「起き上がり小法師」に、NPO法人チームふくしまが展開する「ひまわり里親プロジェクト」のシンボルマークであるひまわりの絵柄を、(株)布分が会津塗で製造し、販売。

②双方のメリット

■NPO／「ひまわり里親プロジェクト」の発展への寄与。

■企業／会津塗を活用した新製品の開発。

③成果または進行状況

商品は、東日本大震災発生から10年を迎える2021年3月11日から販売。

販売先は中国・天津市の三越伊勢丹の店舗やひまわり里親プロジェクトに参加する里親向けに行った。



報告（２）企業が提供するスペースの活用によるイベントの実施

■NPO／特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター（いわき市）

■企 業／株式会社 鹿島ショッピングセンター（いわき市）

①協働事業の内容

NPO 法人いわき緊急サポートセンターが、中高年向けの健康体操を(株)鹿島ショッピングセンターが運営する「エブリア」の2階スペースを活用して実施。スペース確保が課題であったNPOとショッピングセンター内のスペースを有効活用したい企業双方にメリットがある事業となった。

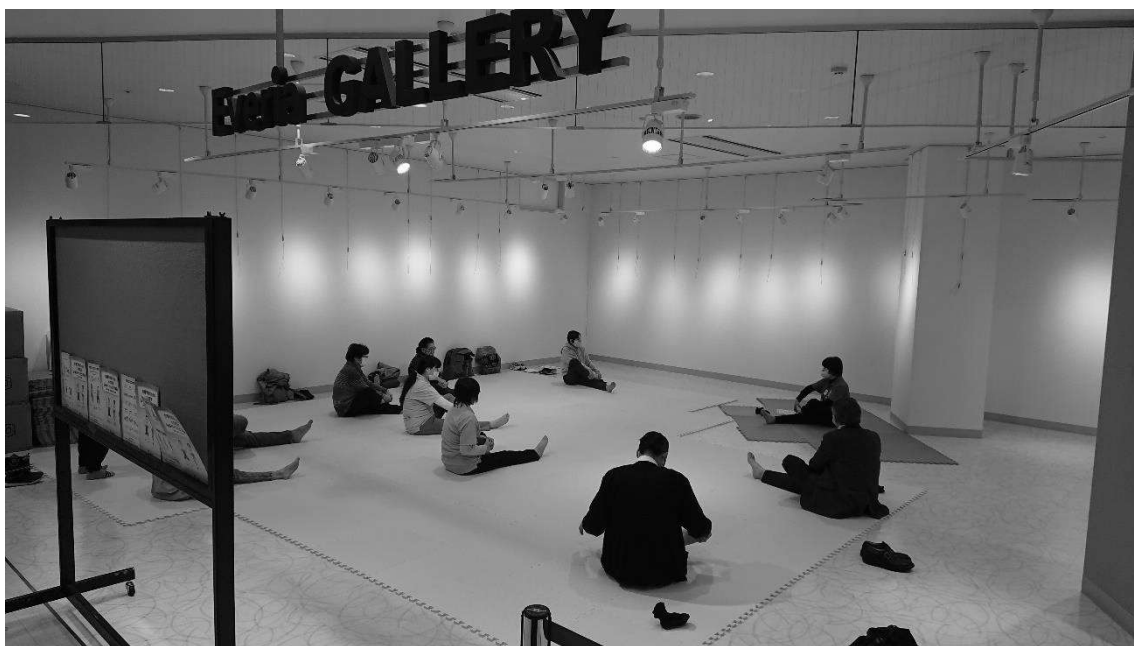
②双方のメリット

■NPO／イベントを実施する場所の確保。

■企 業／運営する施設のスペースの有効活用と、地域貢献の取り組みの発信。

③成果または進行状況

令和3年3月9日(火)に、第一回目の健康体操教室を実施。今後も毎月第二、第四火曜日に定期開催していく予定である。



報告（3）障がい者向け軽作業の実施

■NPO／就労継続支援B型事業所 COLORFUL（会津若松市）

（特定非営利活動法人 CHANT）

■企業／荒川産業株式会社・環境エネルギー本部（会津若松市）

①協働事業の内容

喜多方市や会津若松市に拠点を持ち、資源リサイクル事業を展開している㈱荒川産業から手作業によるごみの分別業務をCOLORFULが受け、当施設を利用する、これまで就労経験が少なかった障がい者によって実施。安価な軽作業であるが、就労経験の浅い障がい者にとっては就労経験を積むのに最適な業務となった。

②双方のメリット

■NPO／利用者の就労経験の促進。

■企業／リサイクル業務の効率的な実施。

③成果または進行状況

令和3年1月より業務開始。内容は、素材の違うパッケージ製品のフタと本体を分離する業務で、継続的に実施されている。



COLORFULの外観

報告（４）協働による、食や食育に関する映画の上映会の実施

■NPO／特定非営利活動法人青空保育たけの子（福島市）

■企業／ikkohG' s office（福島市）

①協働事業の内容

NPO 法人青空保育たけの子が中心メンバーとなっている「『いただきます 2』福島市上映実行委員会」主催の映画上映会・出演者による講演会の開催を、協力者の掘り起こしやマッチング、事務関連業務、資金調達などに長ける ikkohG' s office がサポートし、実現した。

②双方のメリット

■NPO／「健康な暮らしや食育」に関わる映画の上映会の実現。

■企業／自社の長所である企画やコーディネート等を活用できる「場」の獲得。

③成果または進行状況

令和3年2月11日に、福島市の「パルセいいざか」において、映画「いただきます 2」の上映会・出演者後援会を実施。

映画の内容は、青空保育たけの子が志向する「健康な暮らしや食育」に関わるものであるが、実現に当たっては ikkohG' s office が企画や協力者の掘り起こしとマッチング、市の補助金への申請等による資金調達などの面で協力し、プロジェクトを進めた。



「映画上映会・出演者講演会」のチラシ



「映画上映会・出演者講演会」の様子

報告（５）その他、今年度マッチング会以後で現在進行中の事業や提案

■ 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま（福島市）

- ◎ 渋谷レックス株式会社（福島市）
こども食堂「よしいだキッチン」への参加を通じての社員教育を提案中。
 - ◎ 有限会社むもん（福島市）
（有）むもんが取り扱うハウスクリーニング商品（清掃用のスポンジなど）にビーンズふくしまのロゴを入れるなど、商品の共同開発を検討中。
 - ◎ 株式会社 高正（福島市）
ビーンズふくしまが推進している、福島市における「子どもの居場所づくり」の一環で、高正の事務所近くで活動している子ども食堂「森のキッチン」を紹介。物資の提供などをはじめとした事業支援について検討中。
-

■ 特定非営利活動法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ（福島市）

- ◎ 渋谷レックス株式会社（福島市）
子ども向けのイベントを協働で行いたいというアイデアあり。その一つのメニューとしてサッカー教室なども検討。
-

■ 特定非営利活動法人 青空保育たけの子（福島市）

- ◎ 有限会社むもん（福島市）
（有）むもんが発行する新聞への、青空保育たけの子の取り組みの掲載を検討。
-

■ 特定非営利活動法人 桑折町共に生きる社会を創る会（桑折町）

- ◎ 渋谷レックス株式会社（福島市）
渋谷レックス主催イベントを実施する際の、出店の打診あり。
 - ◎ 伊達貨物株式会社（伊達市）
収穫した農作物の活用や利用者の施設外就労などの協働事業を検討する予定。
-

■ 特定非営利活動法人 あいメッセージ

- ◎ 株式会社 Mot. com もとみや
ラジオ番組出演による、地域課題や団体の活動についての発信を検討中。
 - ◎ 株式会社郡山コミュニティ放送
ラジオ番組出演による、地域課題や団体の活動についての発信を検討中。
-

■ 特定非営利活動法人 ピーターパンネットワーク（会津美里町）

- ◎ 株式会社 オクヤピーナッツジャパン
双方の取扱商品を組み合わせた新商品の開発を検討中。
- ◎ 株式会社 布分

商品の袋詰め作業など、施設利用者の就労機会の創出を共同で検討中。

■ 一般社団法人 fukucier（会津若松市）

◎ 有限会社 むもん(福島市)

双方が事業として行っている「家事代行」で連携出来ないか、企画の検討を予定。

■ 特定非営利活動法人いわきFP・e-ライフ

◎ いわき市民コミュニティ放送

ラジオ番組出演による、イベントのPRの打診あり。

■ 特定非営利活動法人ダンス博

◎ いわき市民コミュニティ放送

ラジオ番組出演による活動紹介の打診あり。

※以上、令和3年1月～3月に実施した取材より抜粋

令和2年度 NPO 強化による復興創生事業
「NPO、企業、学生との連携・協力事業」業務および
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

NPO と企業等のマッチング事業 報告書

令和3年3月 発行

ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託: 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託: 認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
